

梅樹軒逸人



月年産連

月

年寄法

四年



漢籍

皇國書



望人



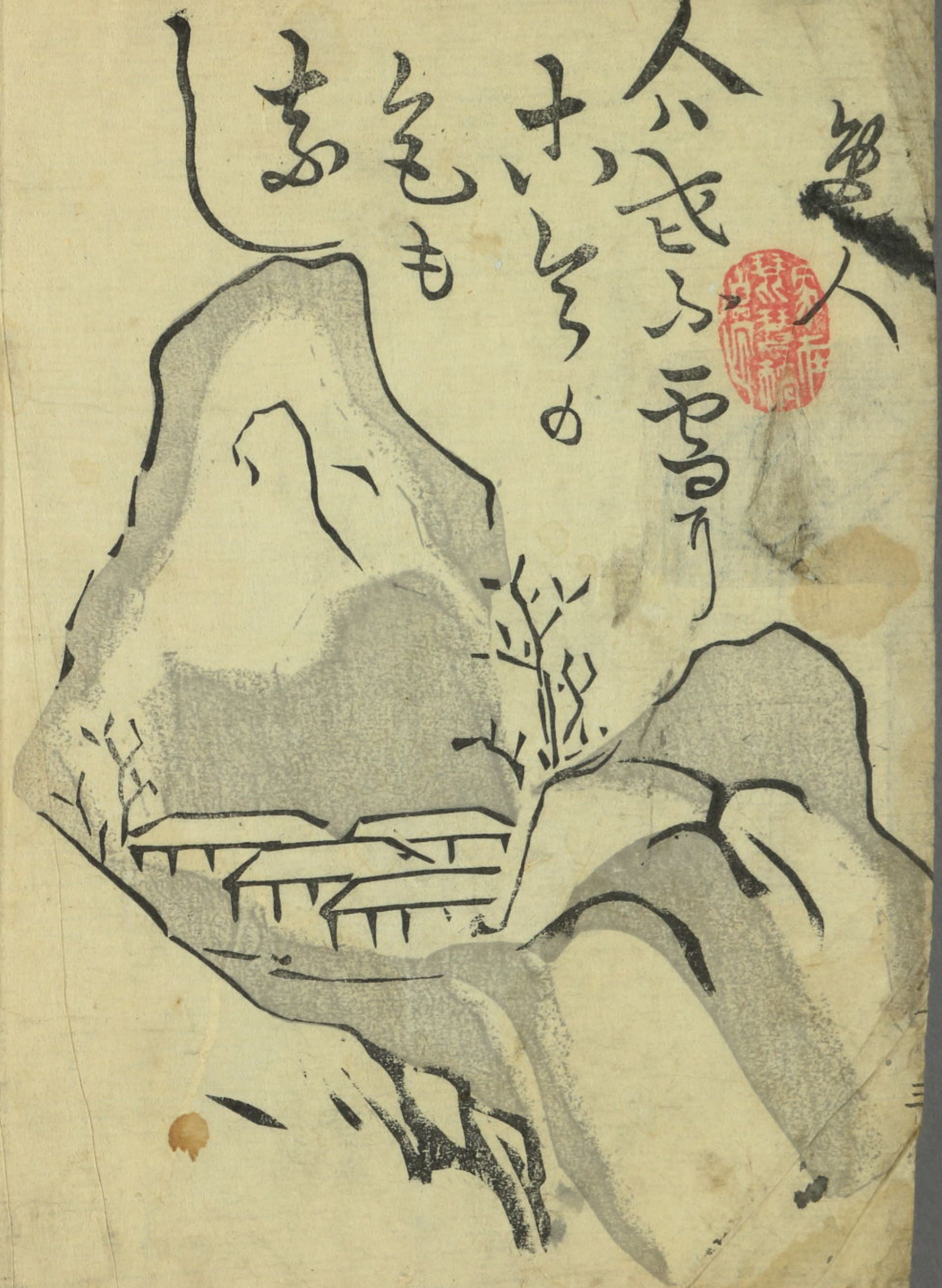
今世ふらふ

十、その

色も

ふ

し



望人

あ、ね 美也

杉のあま

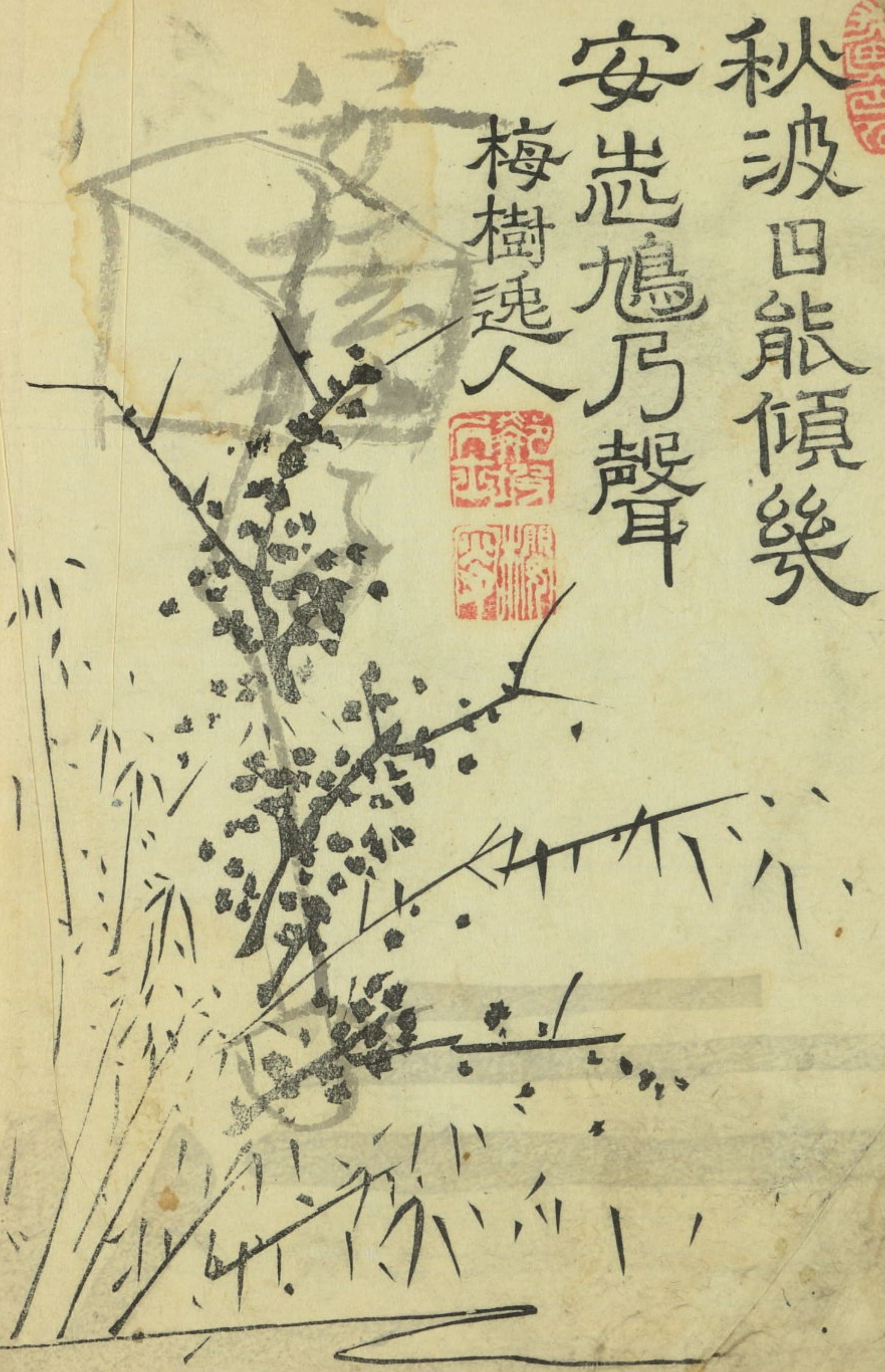
あまの月



秋波日能傾幾

安志鳩乃聲

梅樹逸人



夕多や人如月のふ

梅如くは梅朗



梅樹逸人

鶴喰死

御耳見留

秋水魚鱗

可奈



龍宮



山嶺好ハ

丹秋魚鱗

まのふかふか母なるのこ

千夕ある河





浪華

三  
人

士  
乃  
松  
本  
夕

江  
邊  
志

江

八月乃

鳥の

行  
来  
戸

岩

清  
水

あ  
り  
口

磯  
旧



逸相也  
侍  
西米



其流深一十

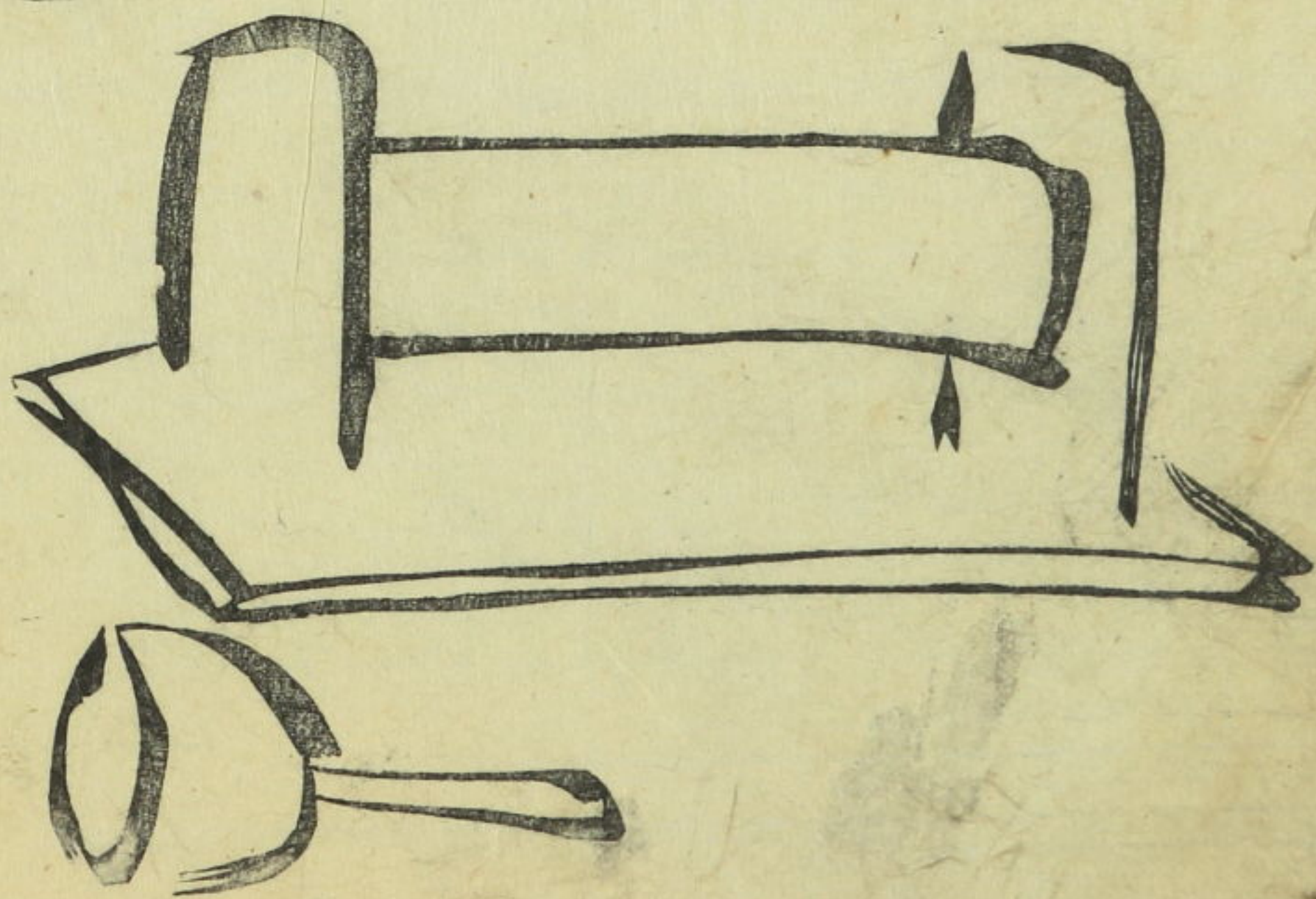
方九

仕舞

梳

あま

可月

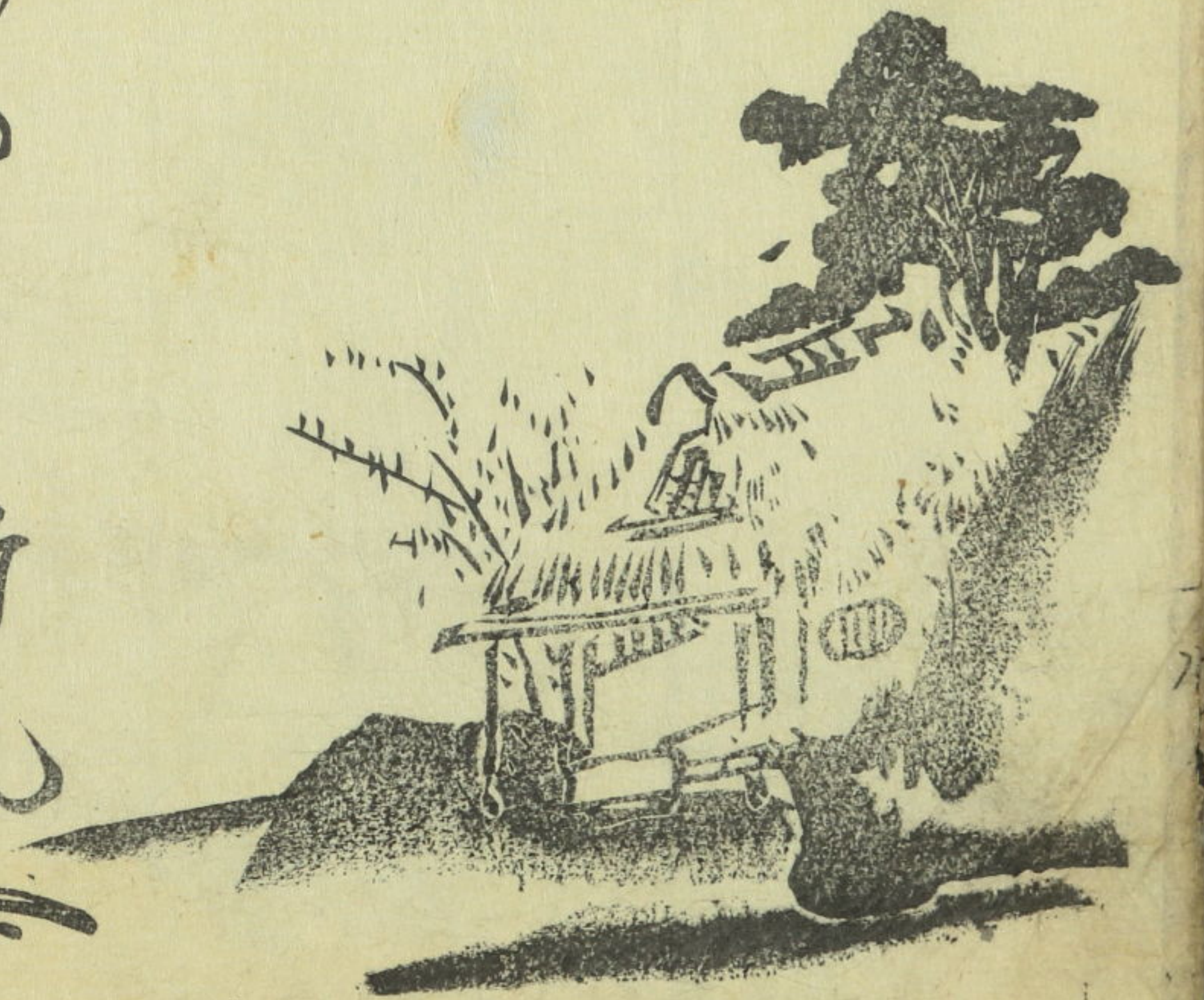


半分の気

半分の気

碁の事

竹の事



春の心

春の心

採り新矢場の

芝うれ



英仙

Red square seal impression.



雪、空の

降、まのよ

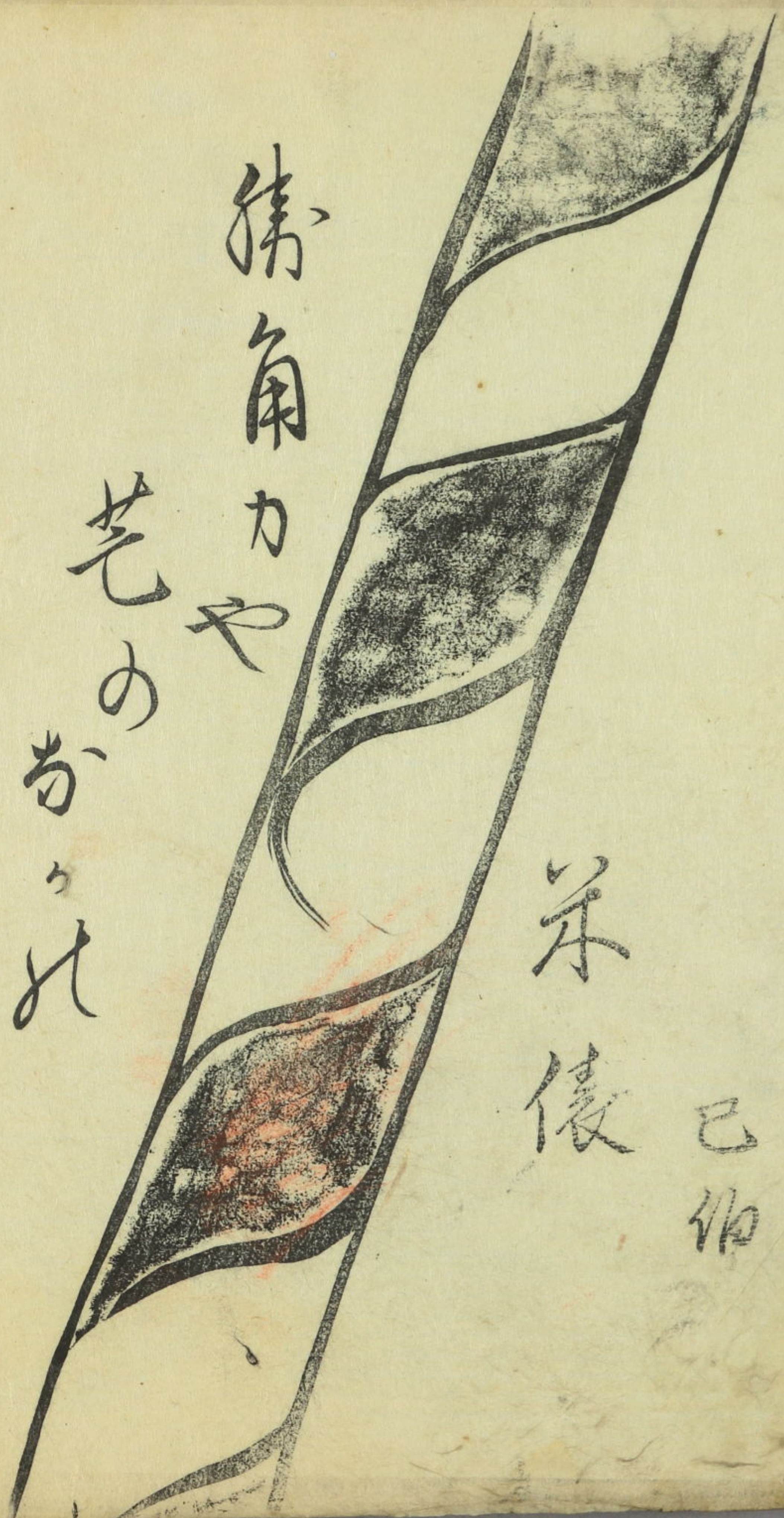
— さ

秋、花、雨

三力ハ  
有、嶺

猪角力也

芒の  
あ、れ



年、儀

巳、作



水鏡名目及

後入

女郎花



氏新詠

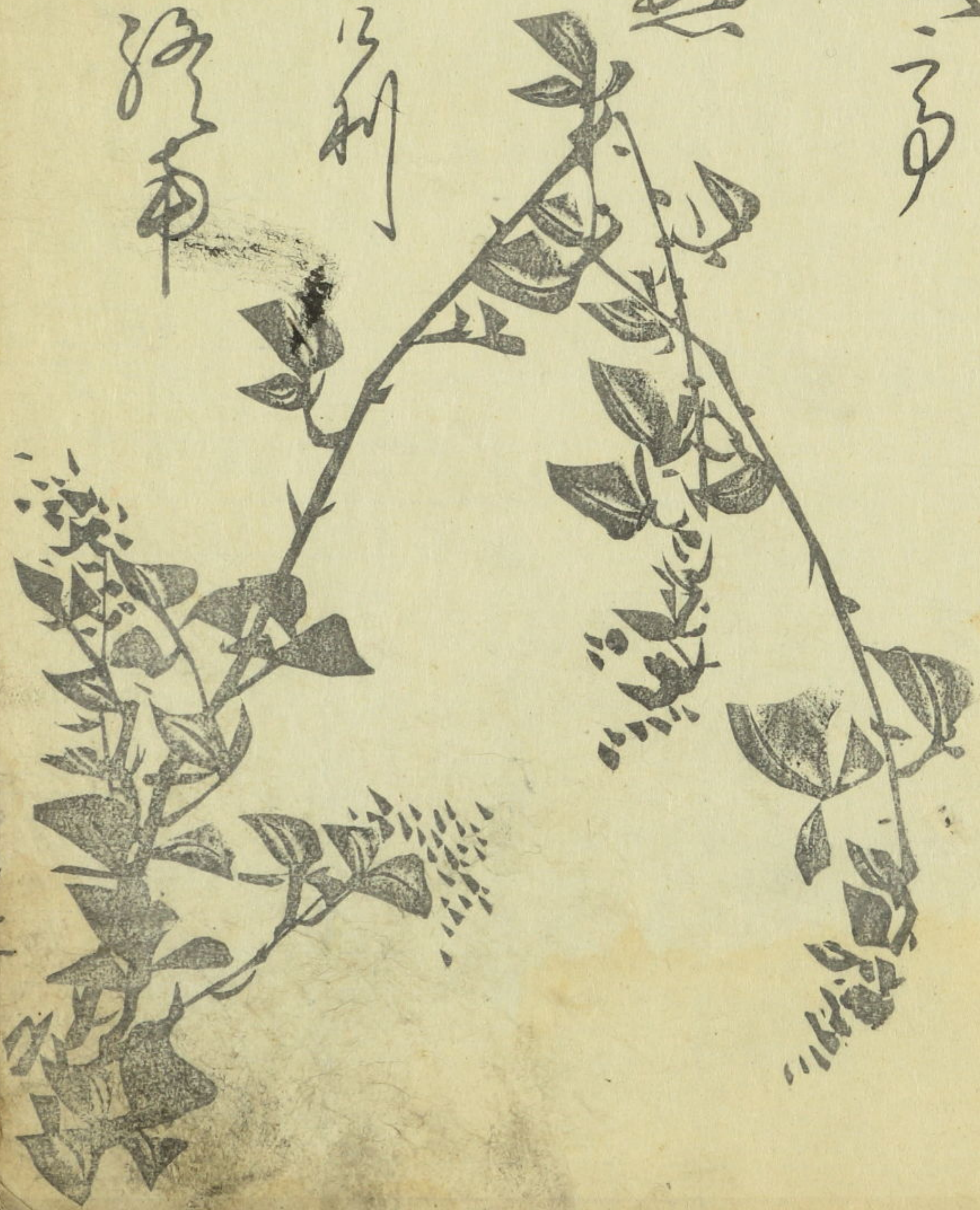
秋暎子

風吹

目

名目及

水鏡



あけの葉の花  
白のりるに似る



アノウ  
志平  
開

穂すき  
二の月  
えしぬの

か  
志平



三井寺

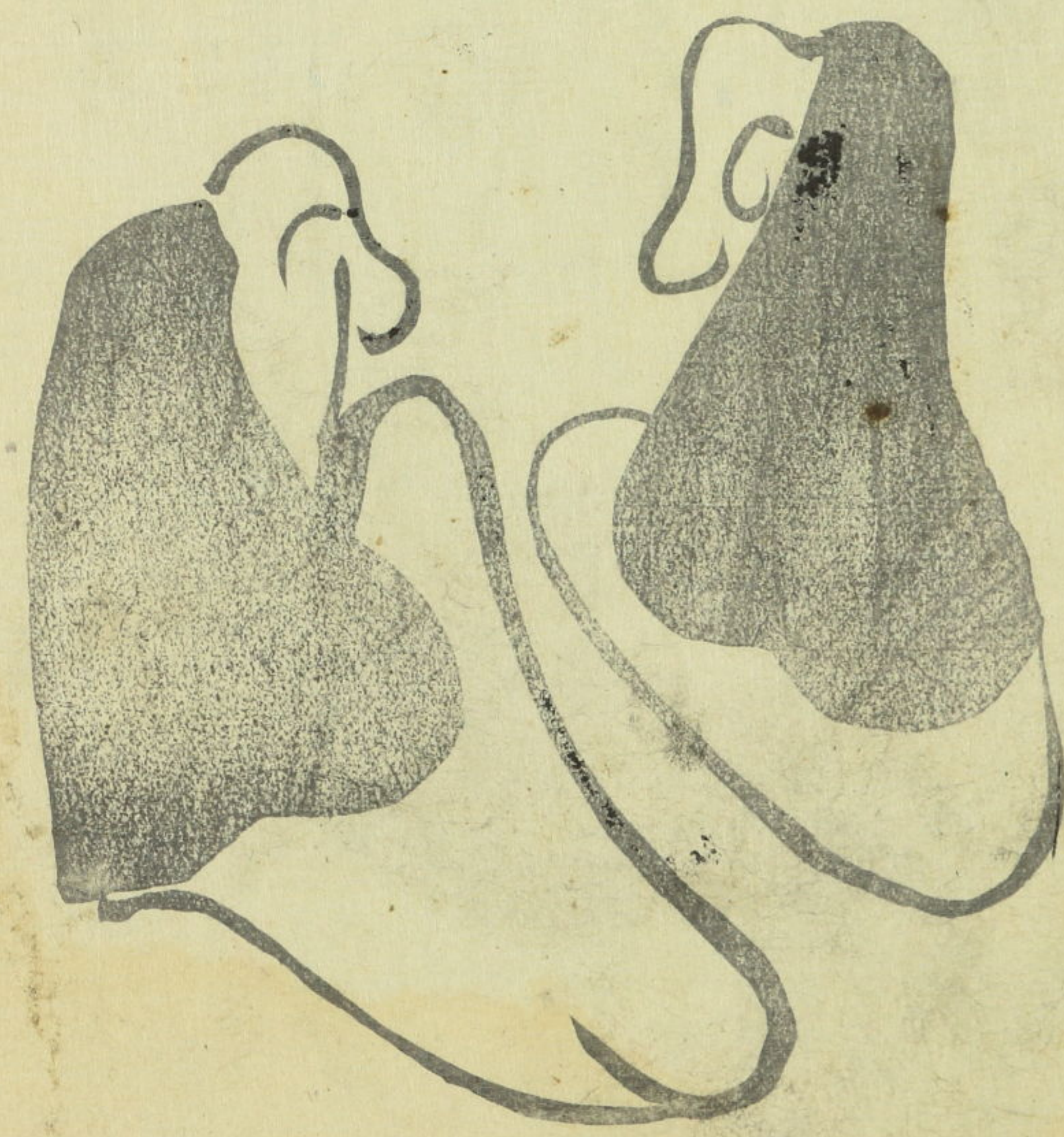
やまがし

鏡子

秋乃

声

アハウ  
喜雄



橘の  
皮

ひえ



名月書

しん  
を

平定  
解





杞中  
如樂

為地地  
如心

古  
如  
林

浩

榮  
人

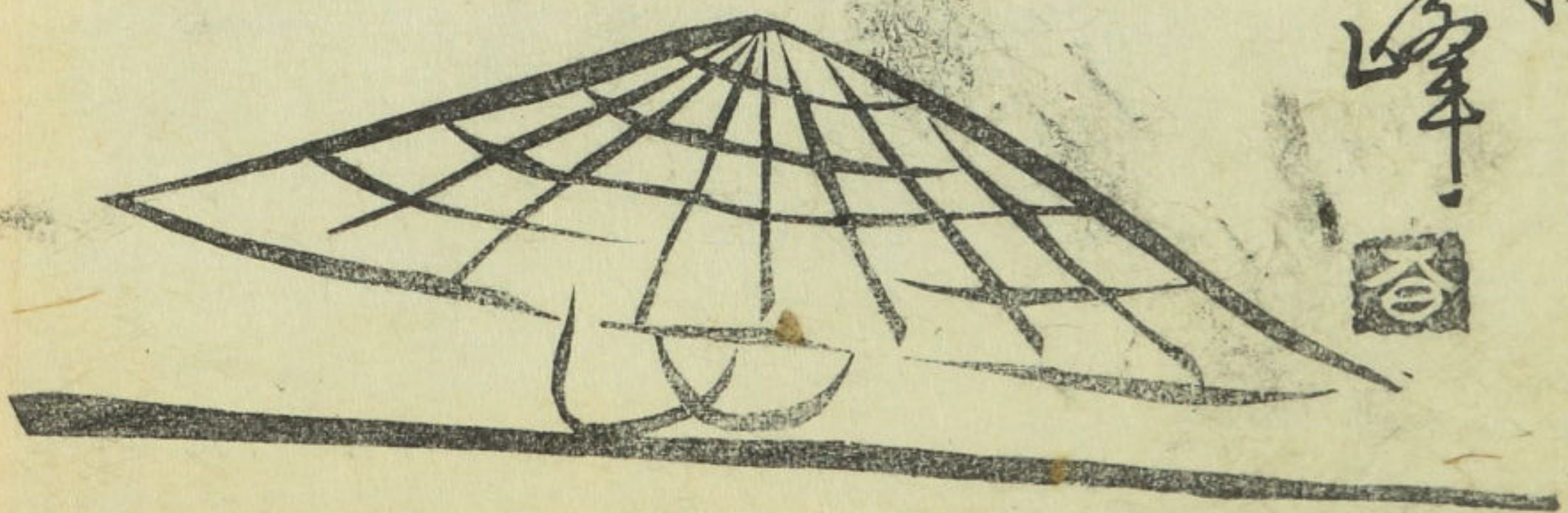


烟  
心  
如  
樂

第  
二  
年

湖  
東

有  
峰



煤の竹立

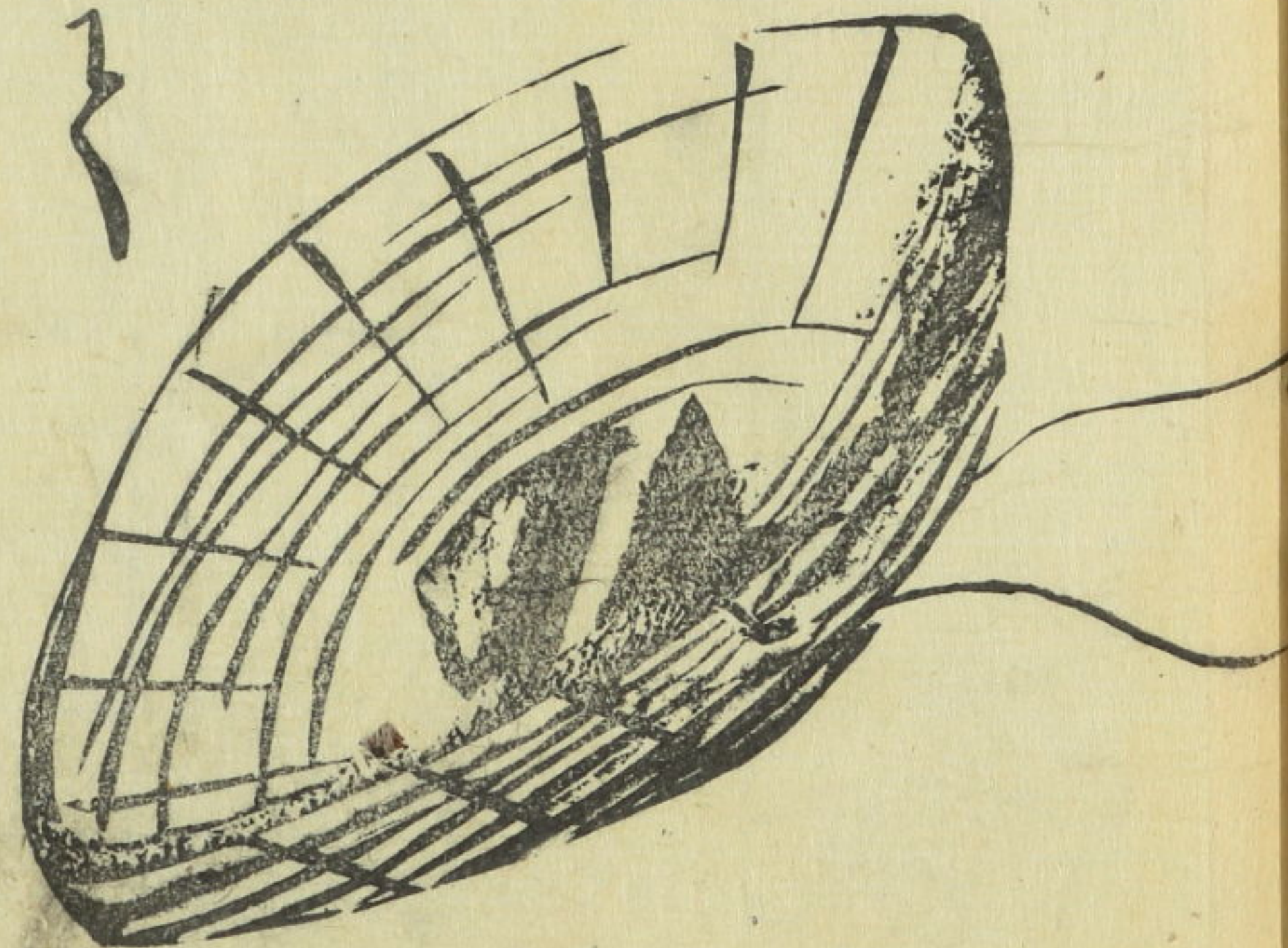
婦る花

山より花

蟋蟀

一

紅



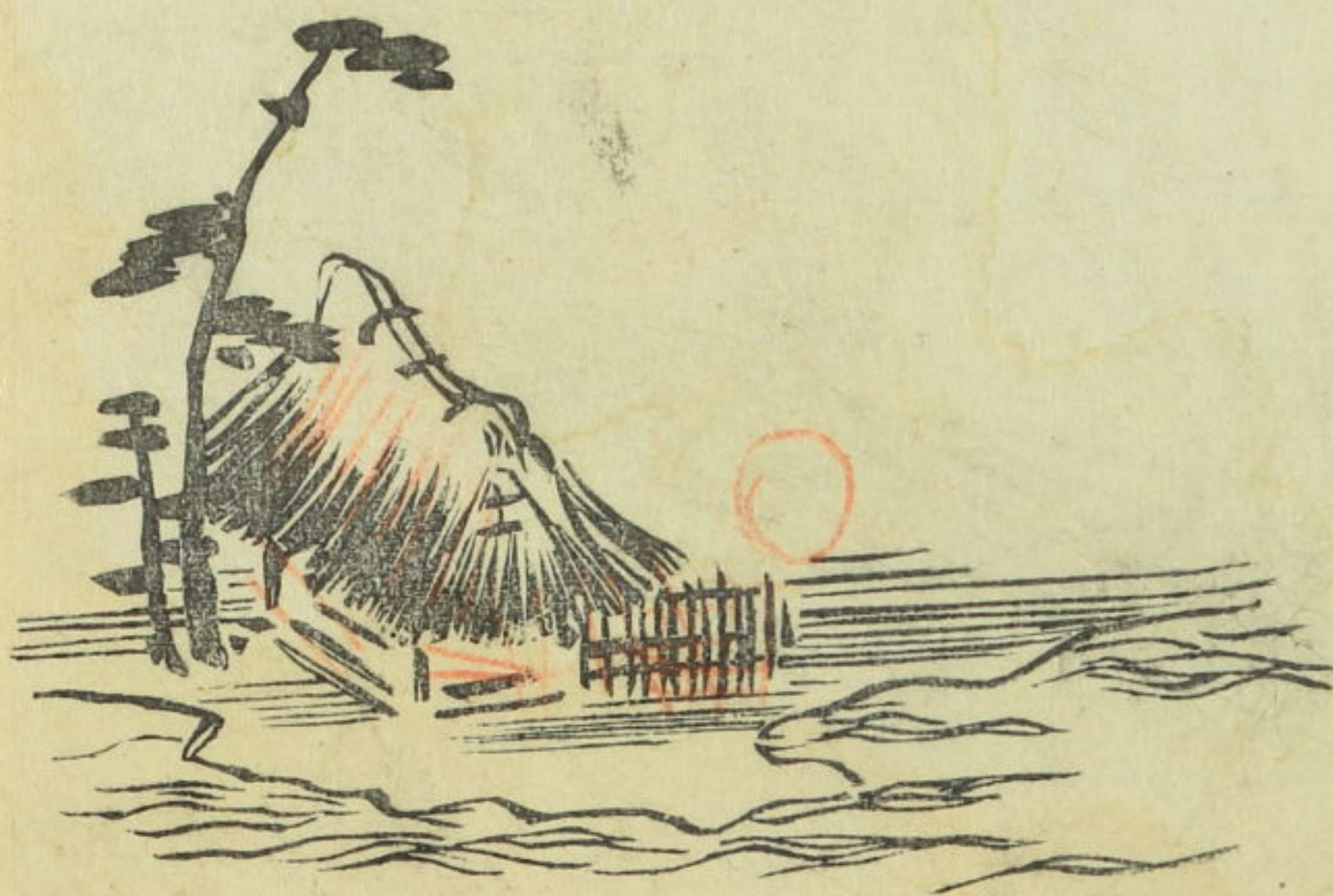
山白物

山白物

山白物

野子

年飯



稻 稻

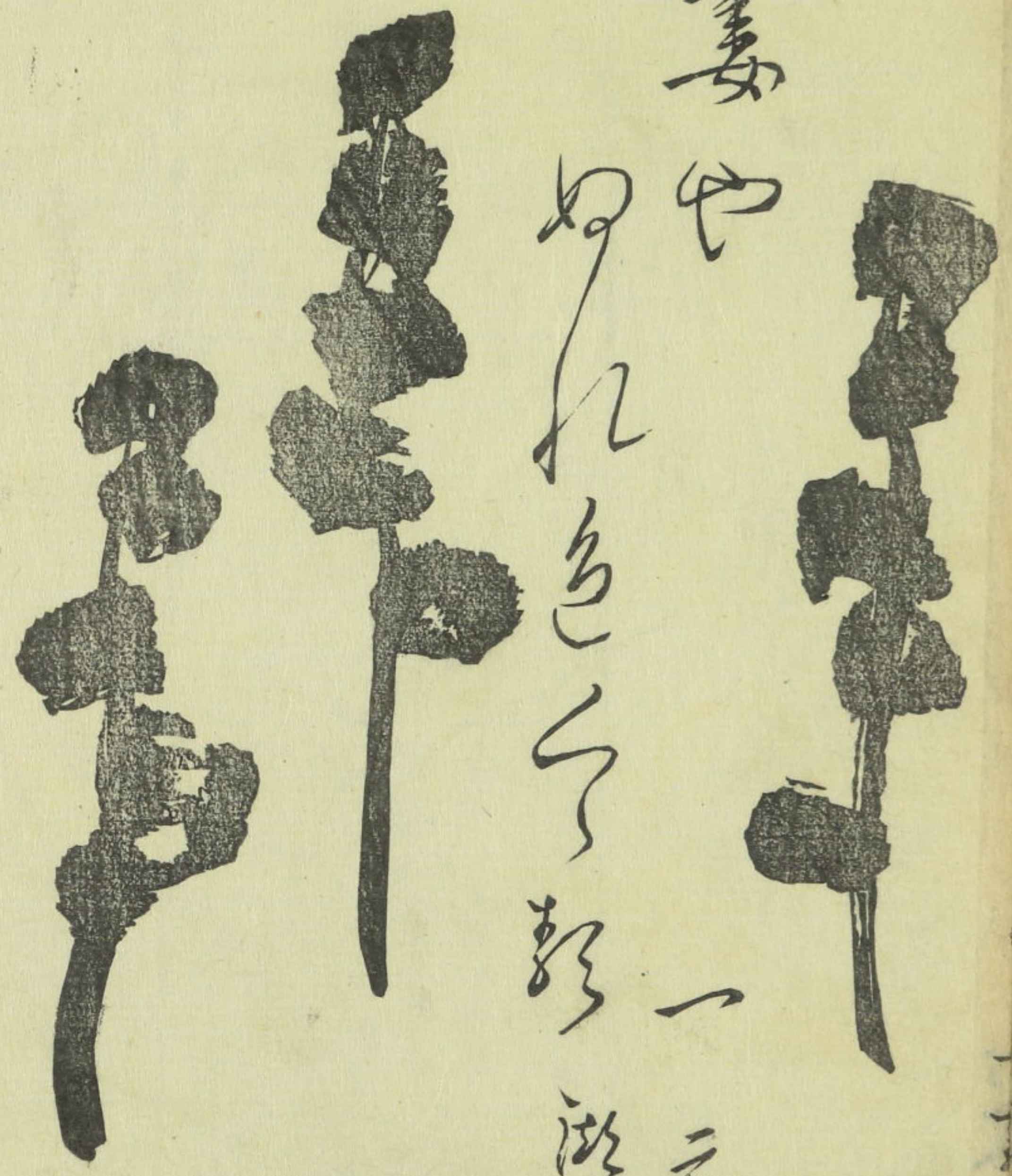
妻也

如 凡 色 之 類

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

湖南 還古

斯人可



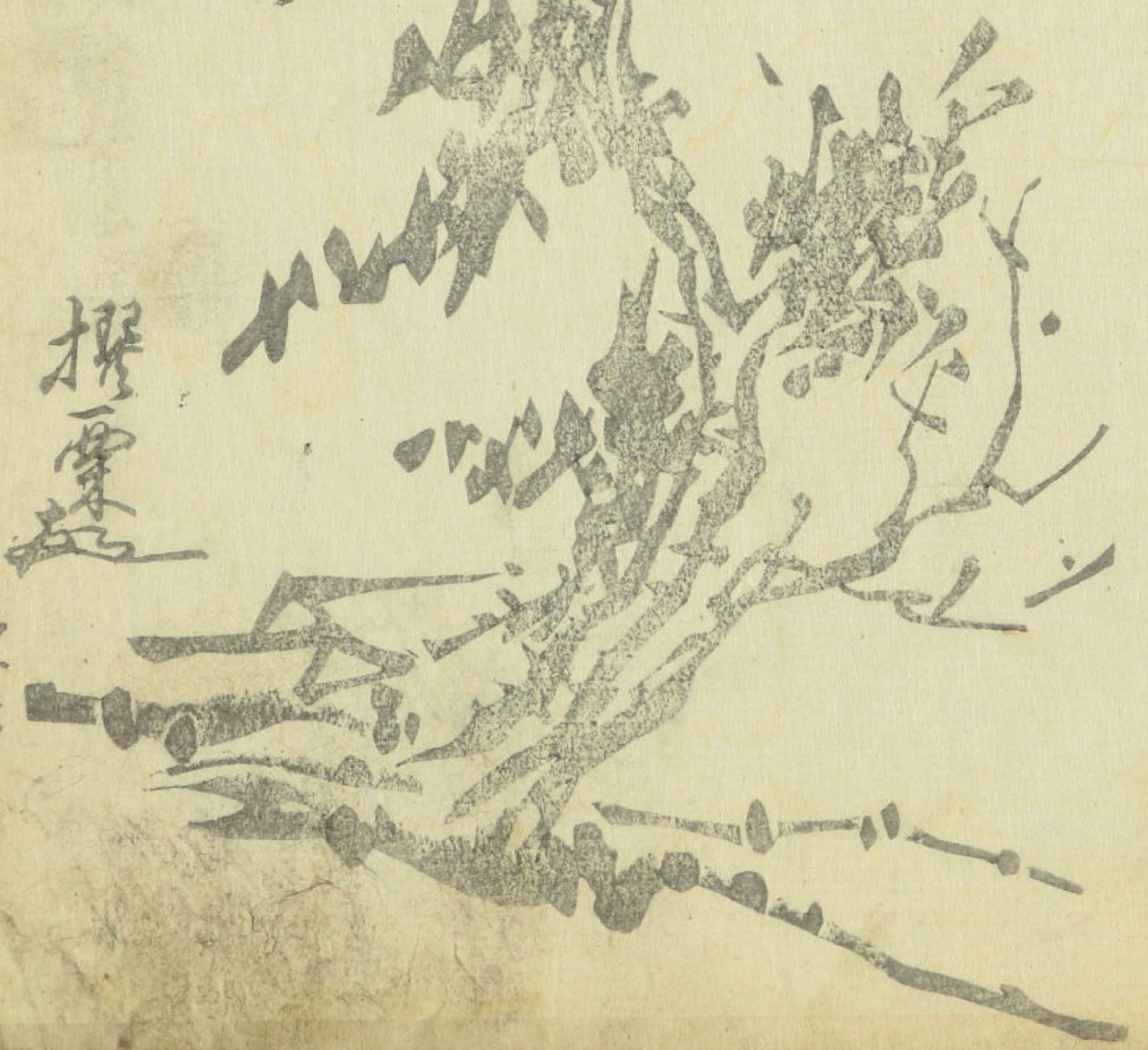
一 如 畫 也

收 種 也

義 不 盜

消 婦 也

撰 粟 也



大いなる愛の心

くもり  
濃も出る  
くこの者

榎玄庫  
おま



月を  
秋の  
大坂

淡



蓮堂



秋 穀也

西二

子 俱也

子 俱也

心 也

心 也

心 也

心 也

心 也

心 也

心 也

心 也





+

秋を  
かゝる  
後の月  
江戸  
竹馬



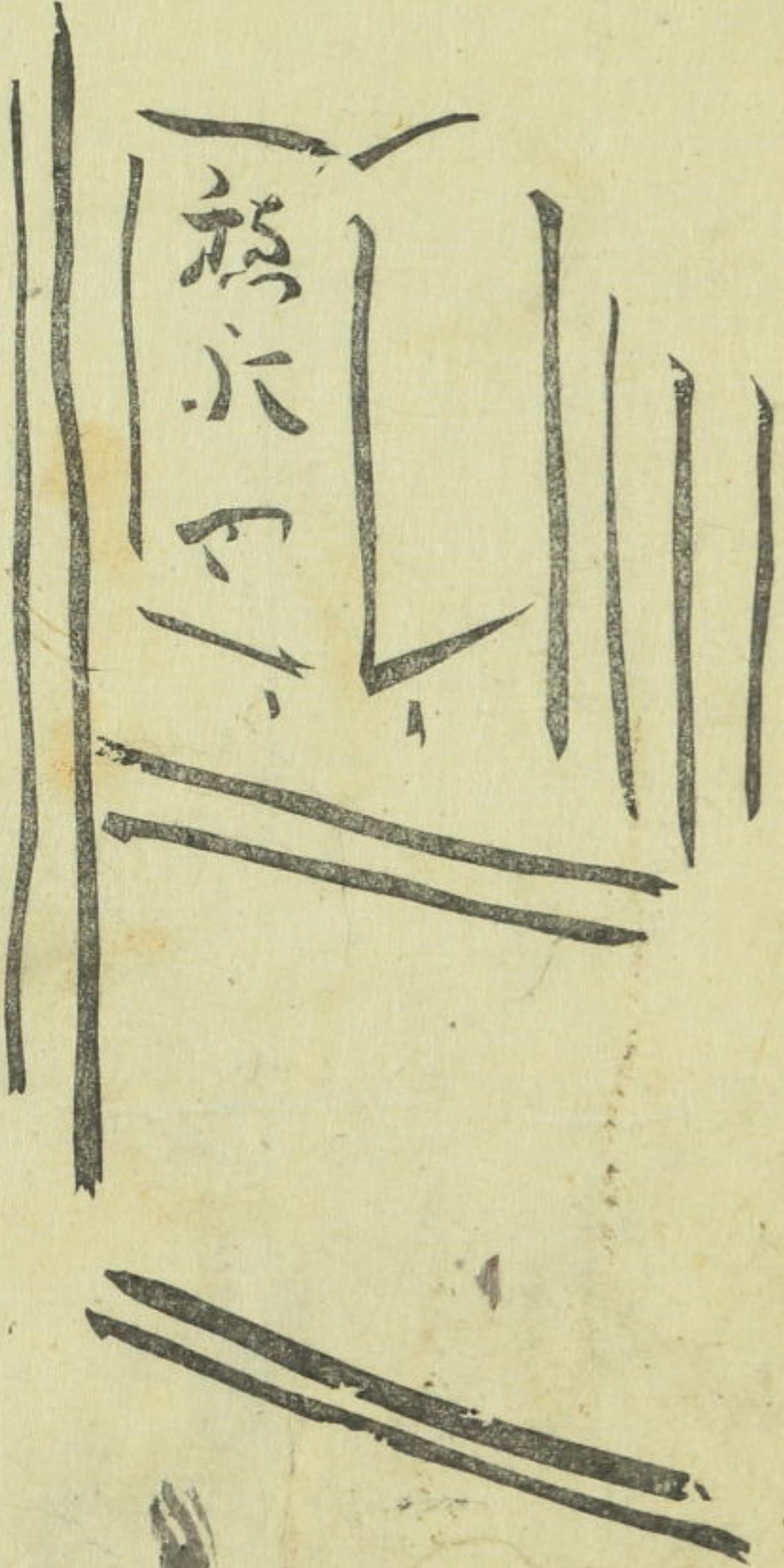
田喜寫  
桂



あまの月

湖の月

伊勢  
如流



新米也  
葉くさね  
自然毛江也

田喜護物 謎字



自画賛

庭  
山

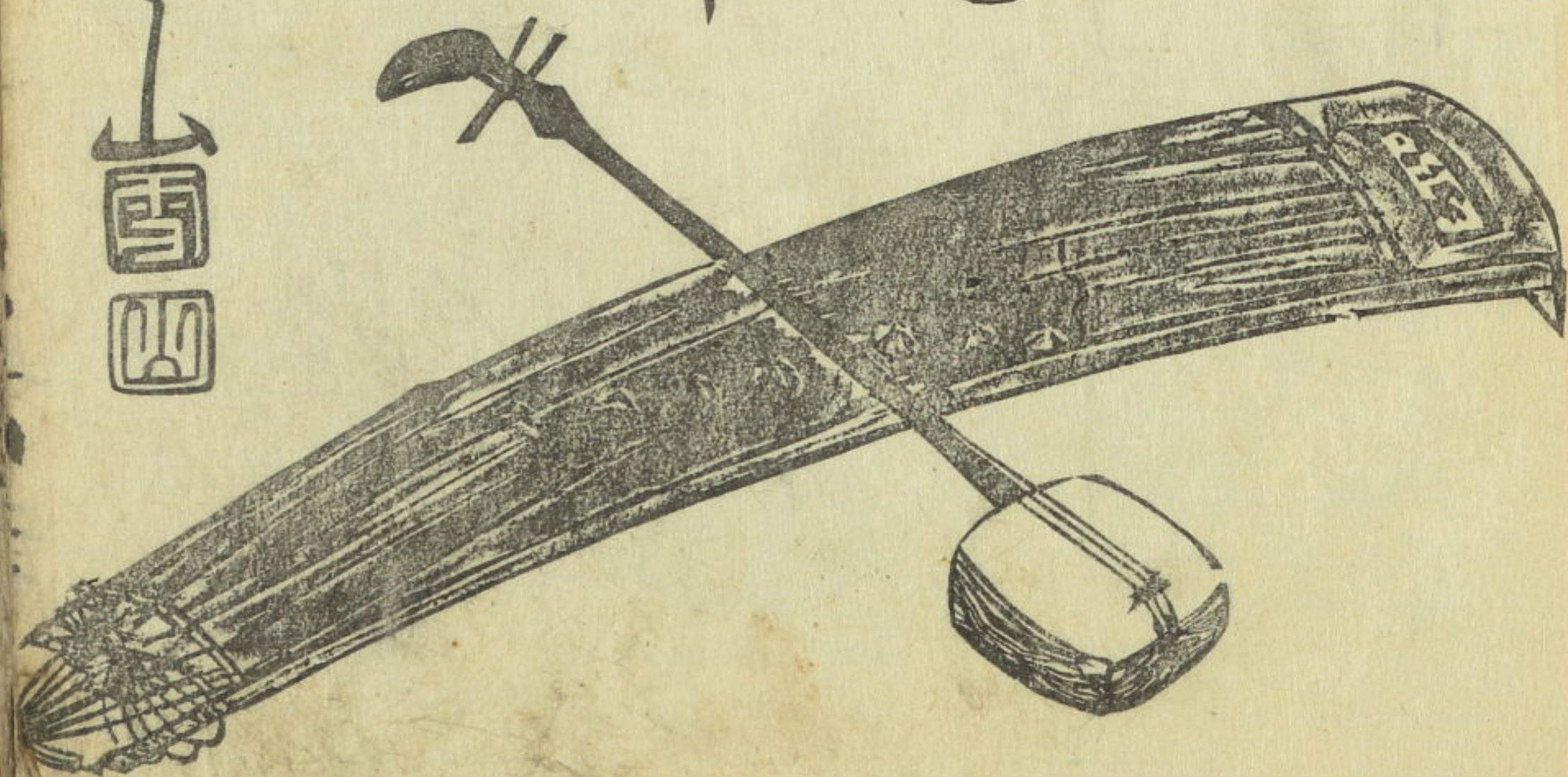
猫

夕

後の月

浪花

雪





五月の月  
 花の影  
 五月の月

十二  
 高橋海製

五七

五月の月  
 花の影



大洋  
 醉馬  
 高橋

五七

淋  
 之  
 古  
 之  
 乃



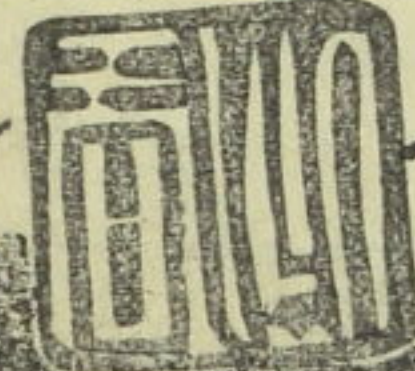
乃  
 乃  
 乃  
 乃  
 乃  
 乃



舟を  
 打ちし  
 うま  
 浮れ  
 うま



治  
 吾  
 孫



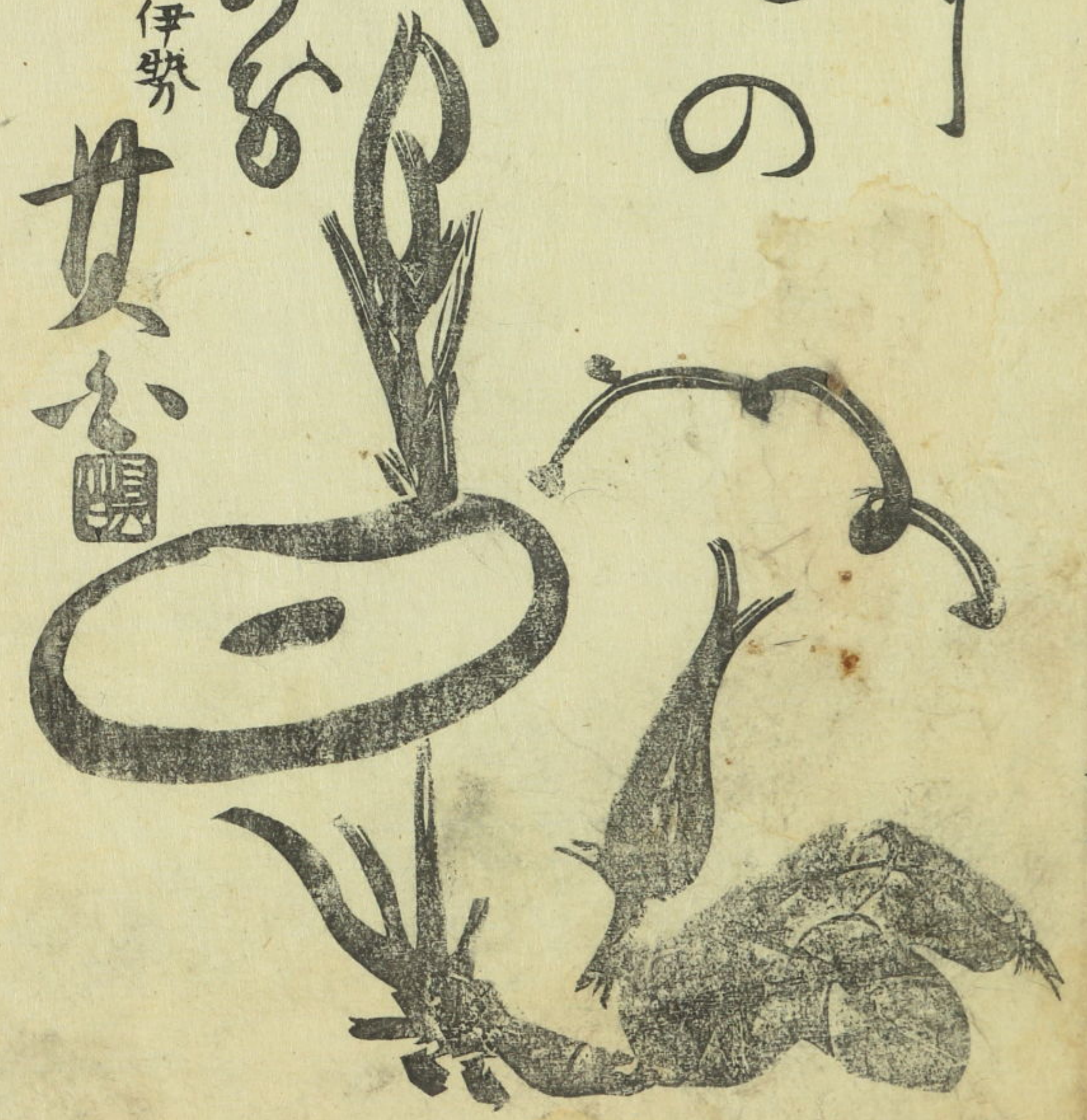
朝  
 只  
 五

尾  
 ひ  
 の

地  
 の  
 子

伊勢

其  
 心



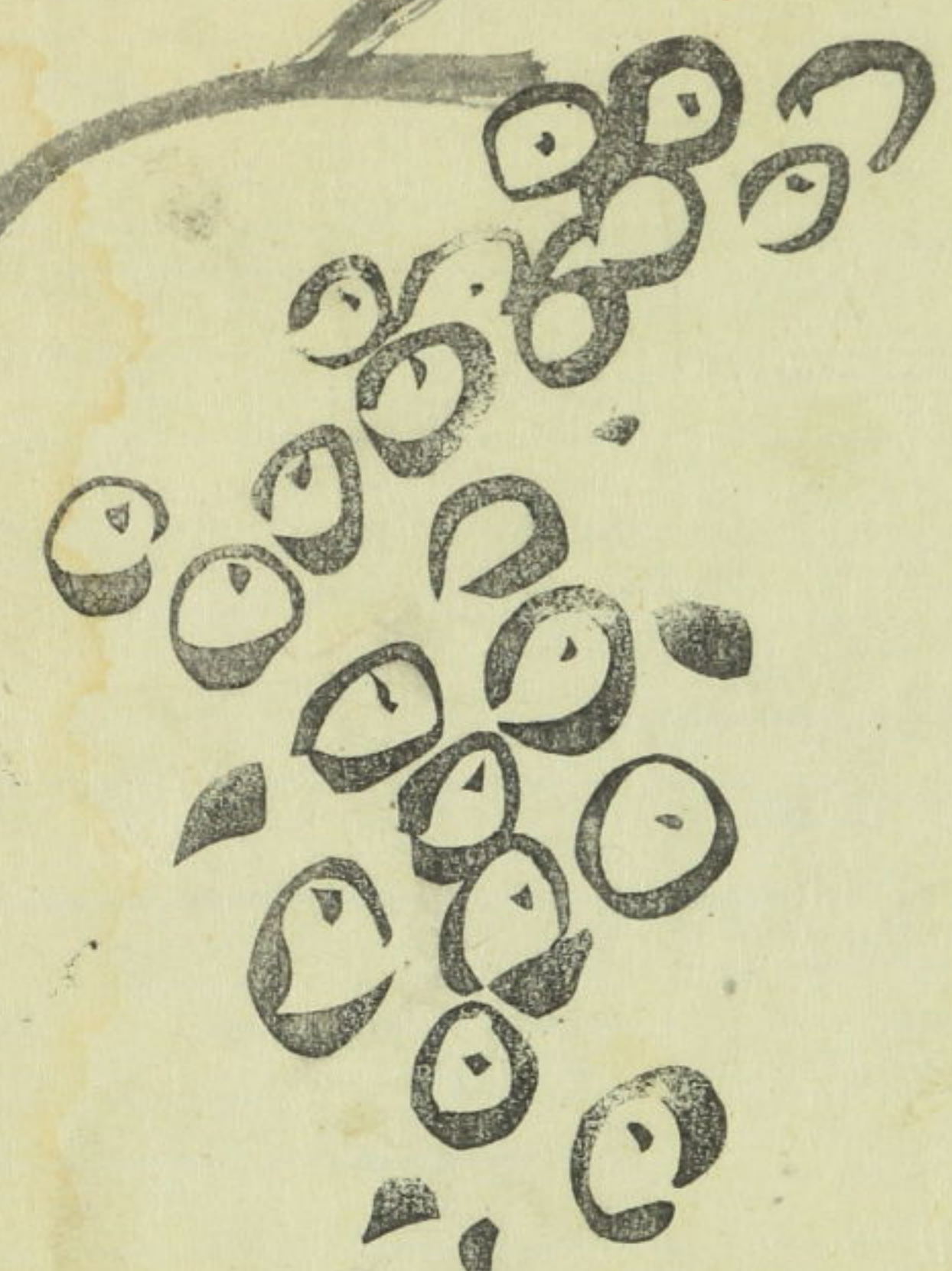
明日也

時也

七

一人り

承  
流

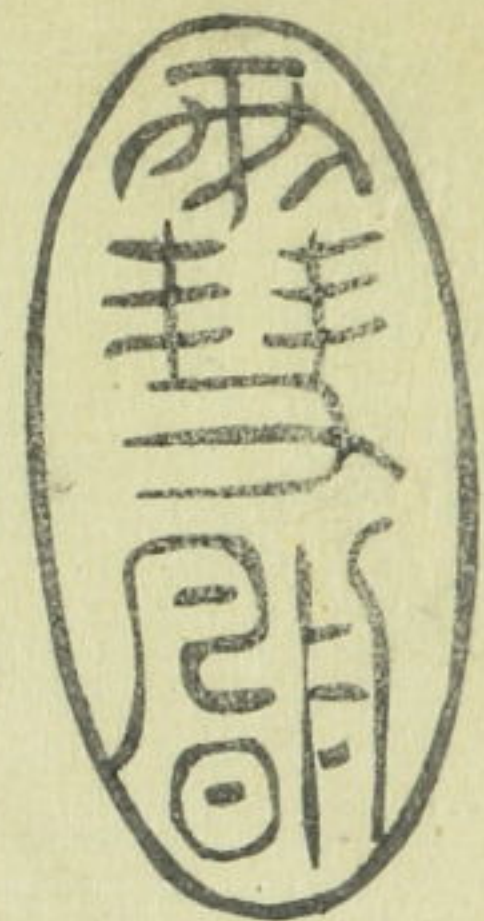


ゆきゆく  
ゆくゆく

きりぎりす  
さけ

少  
余



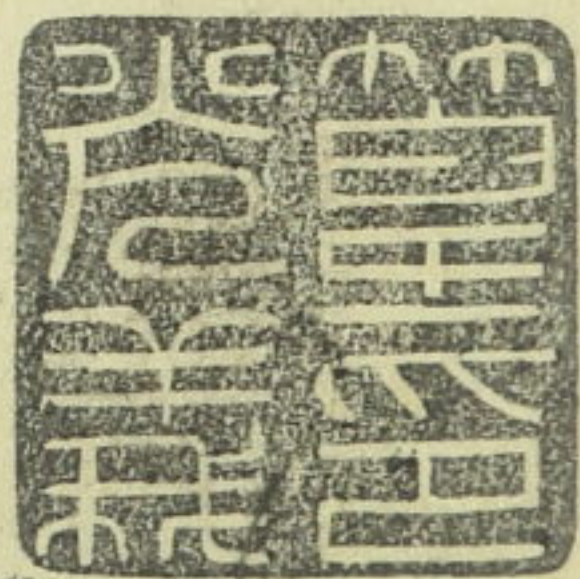


花子あまの

松の湯を

秋の

後  
東裡



柚味

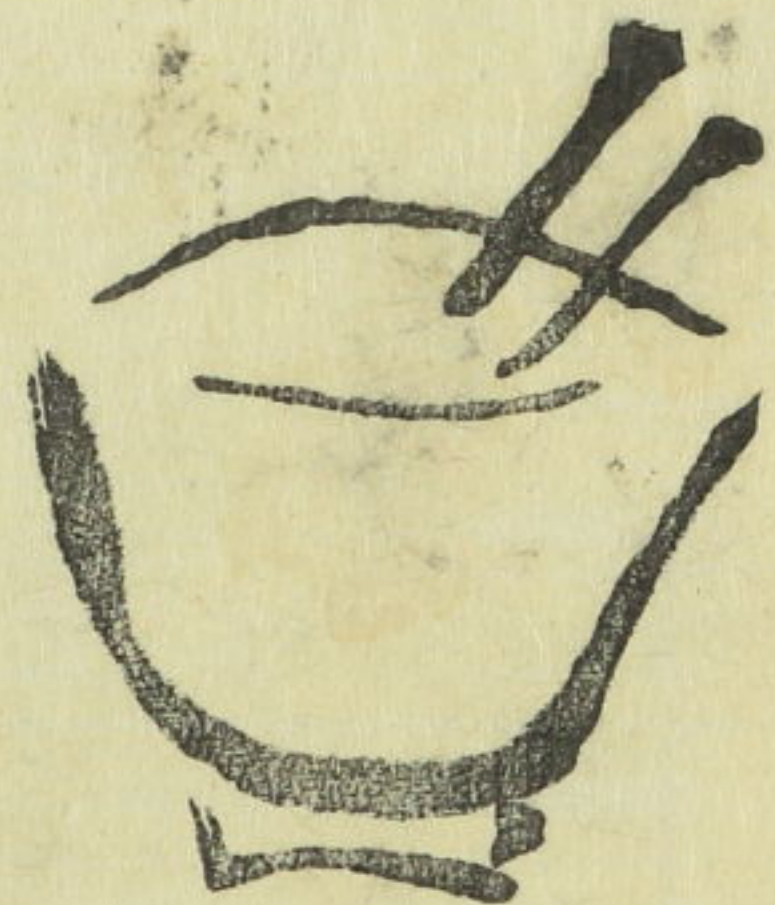
みこ

杯

芳

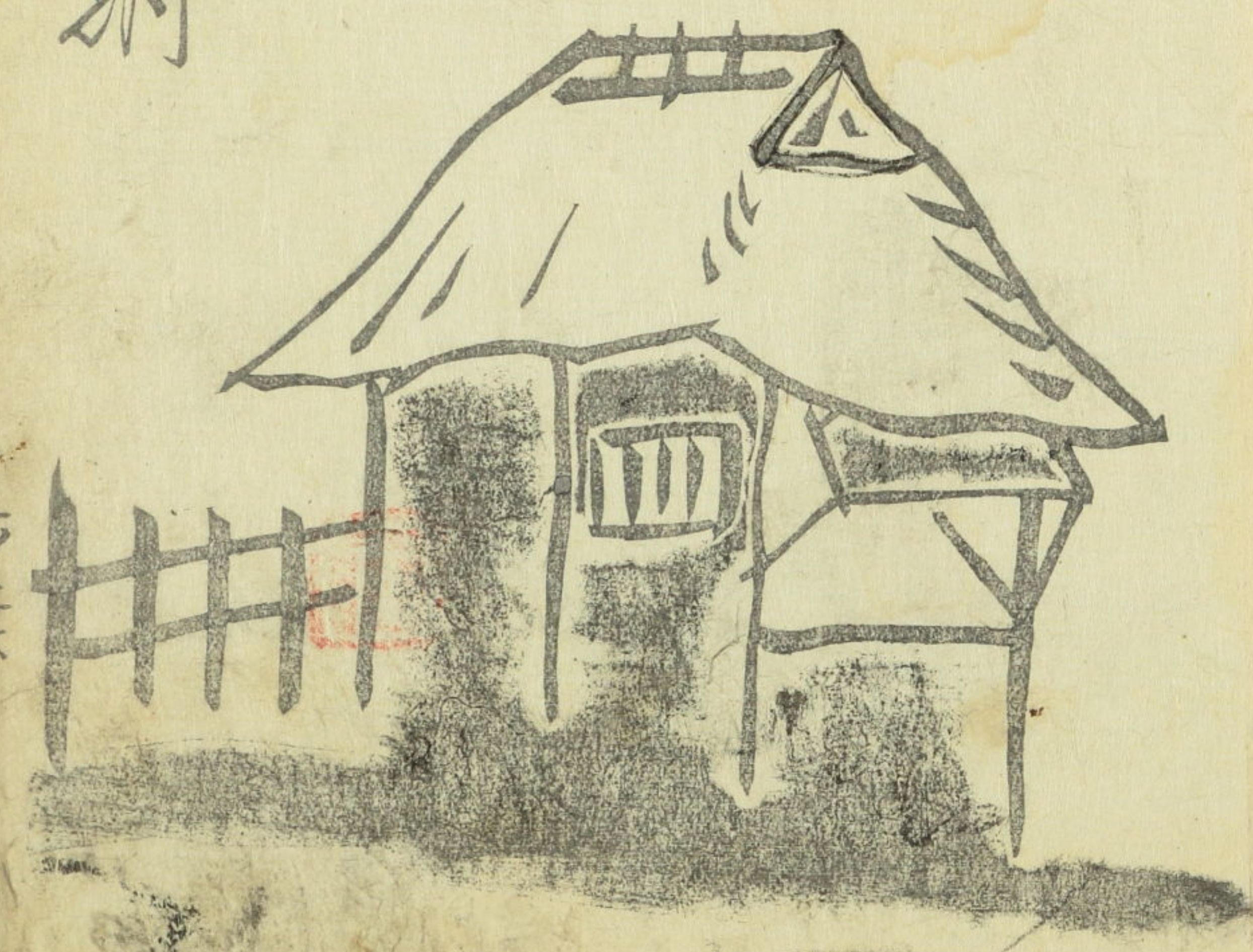
後の

嶽



湖  
南  
湖  
湖

草の  
く  
稲の  
な



湖  
の  
な

草  
の  
な



里  
玉  
五

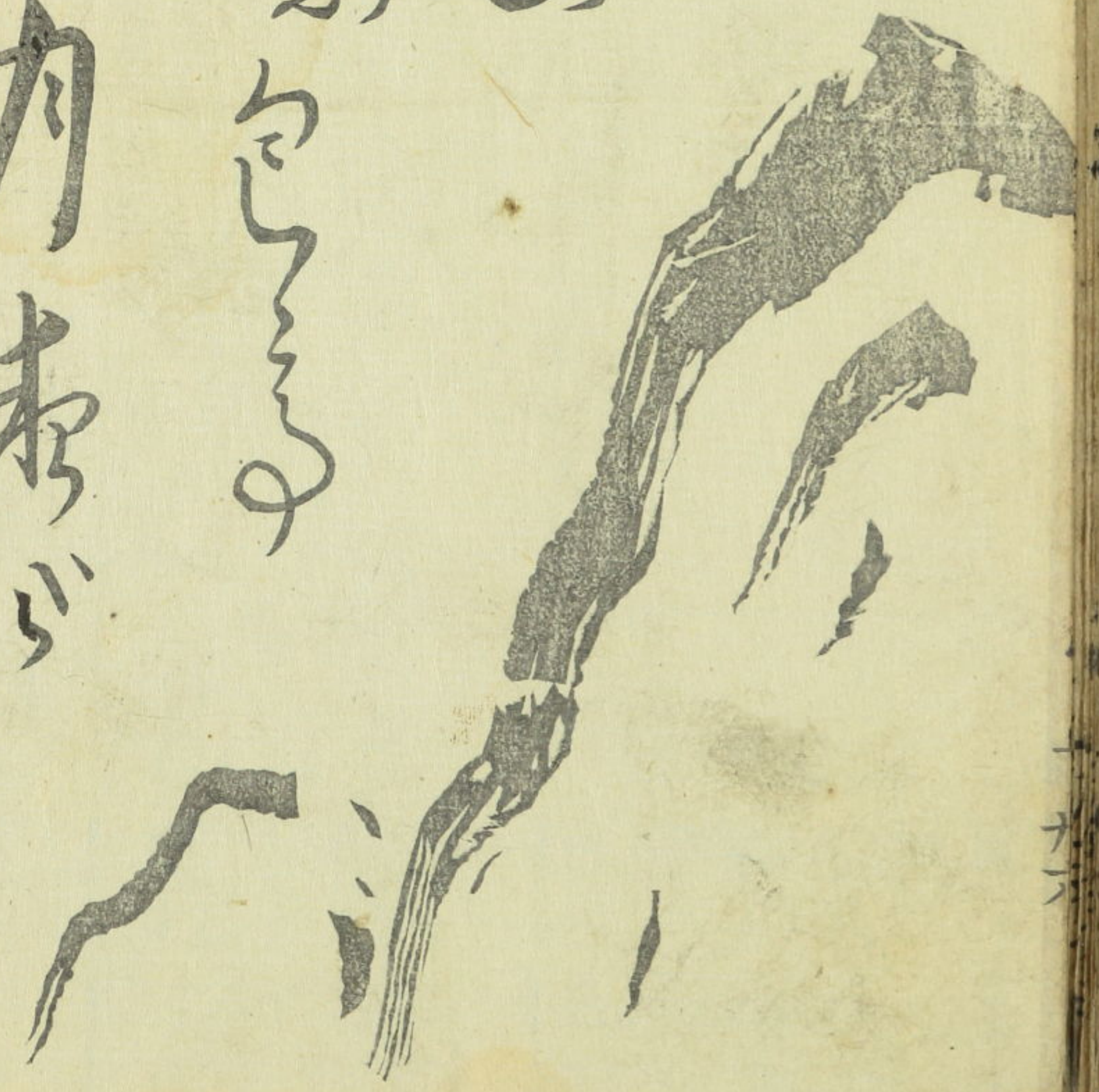


東山の

新ふ  
白し

月あは

三  
三



新

あ

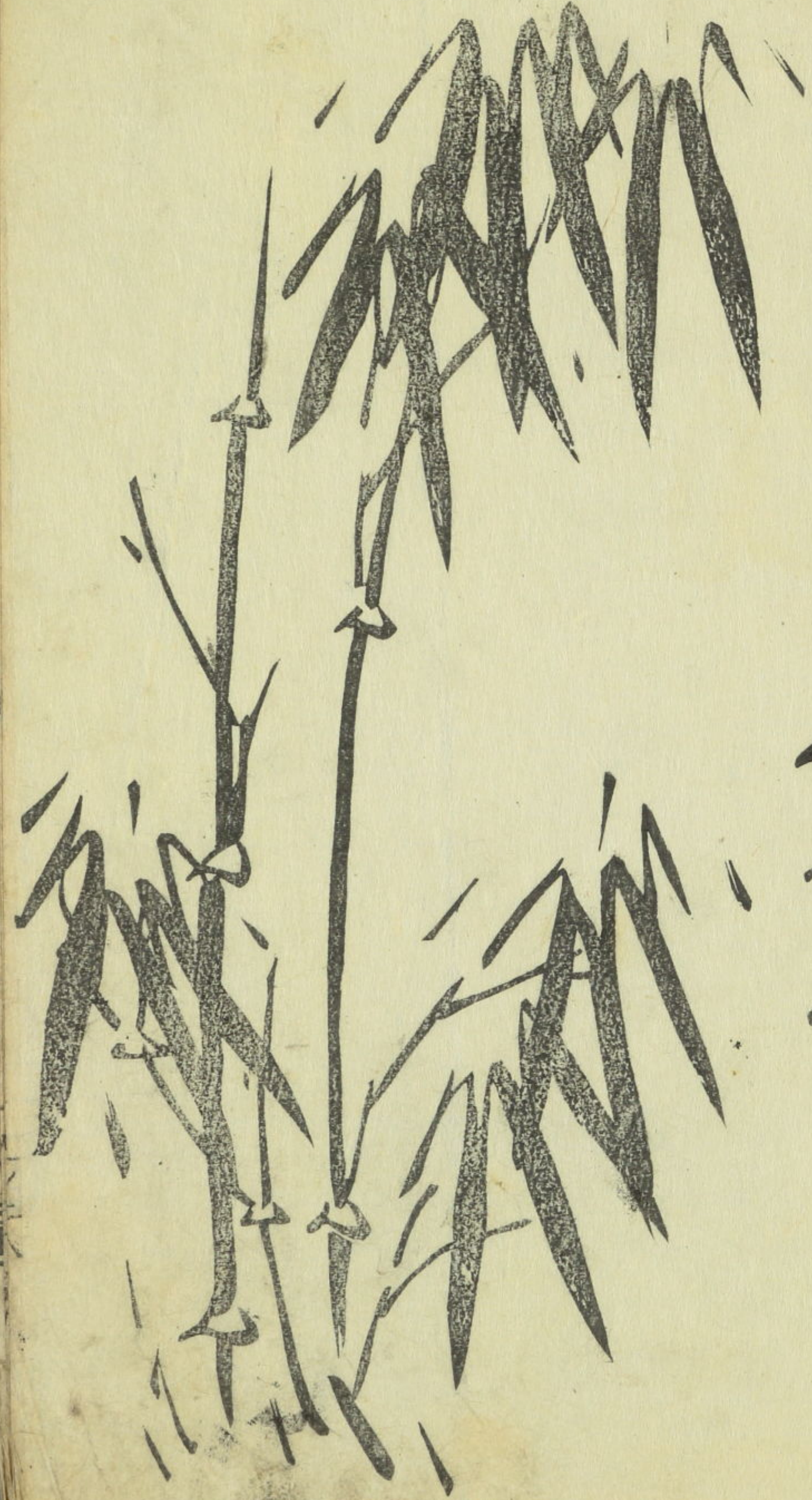
も

あ

秋  
乃  
暮

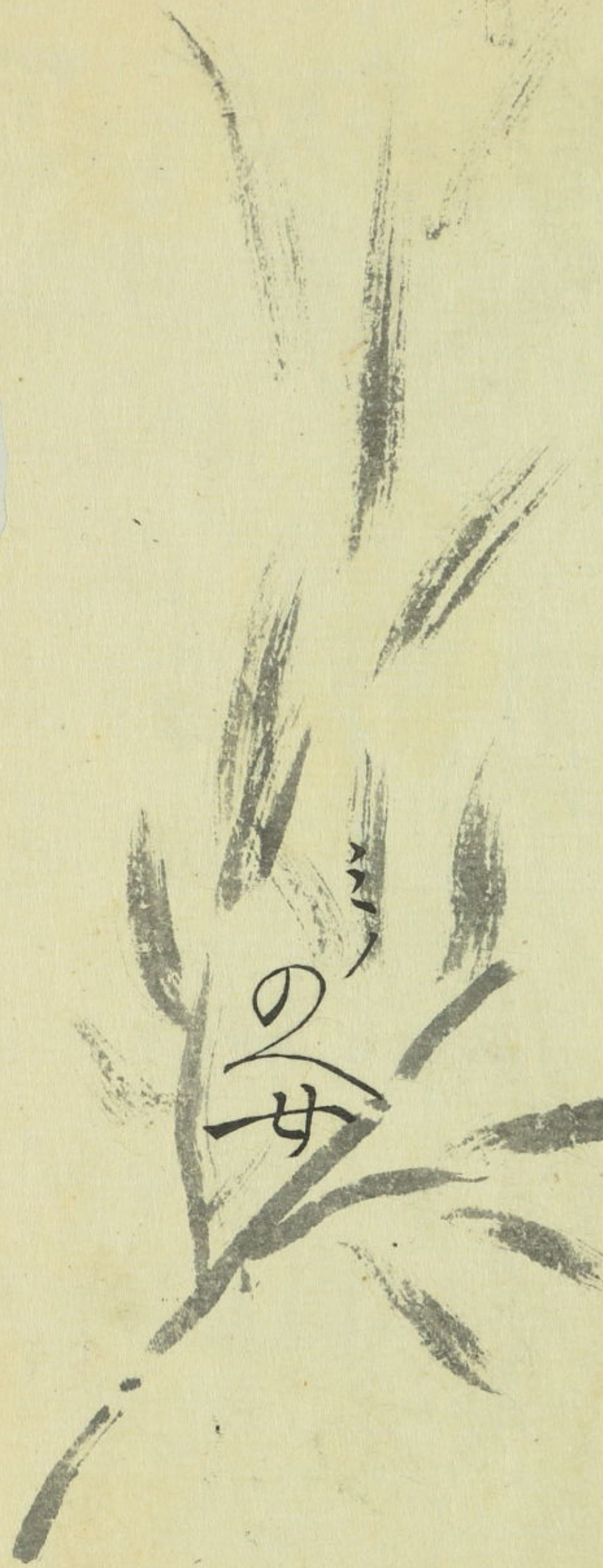
大坂  
凡  
大





秋情ふも  
 雨、村雨ふふる所

孫英



の  
 女

花  
 の  
 枝  
 へ  
 ち  
 む  
 り  
 ち  
 む

田



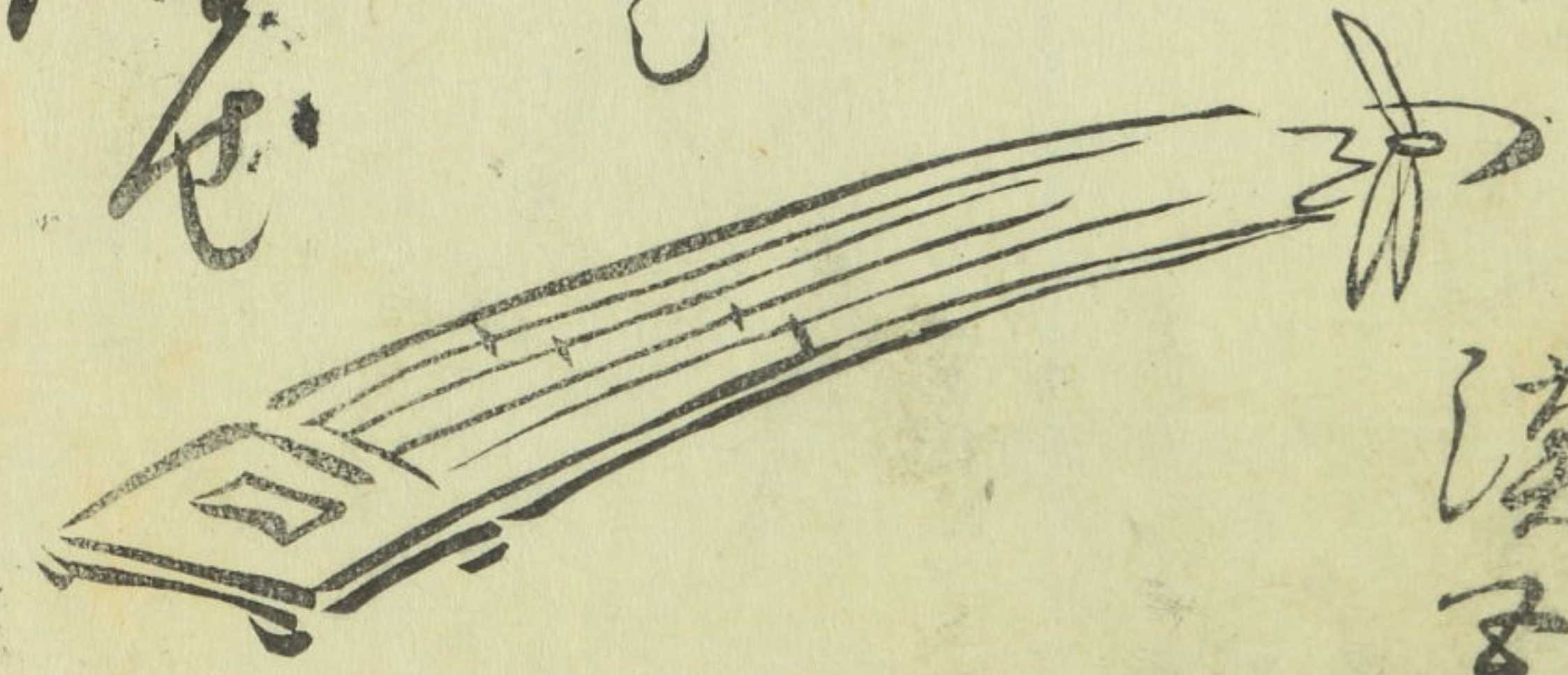
対

いふ

し

早

漢子



部中  
仕

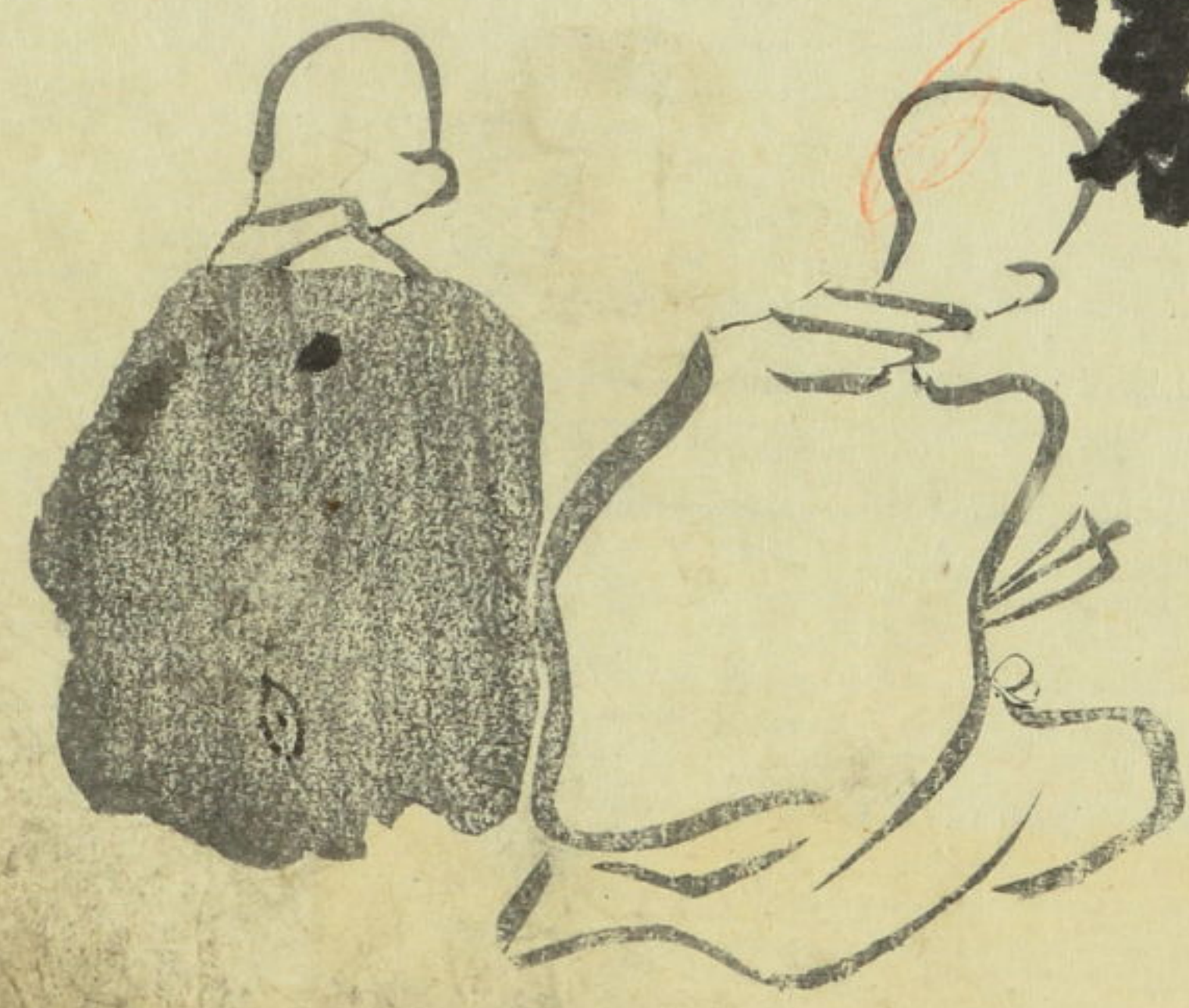
大

この

の

の

の



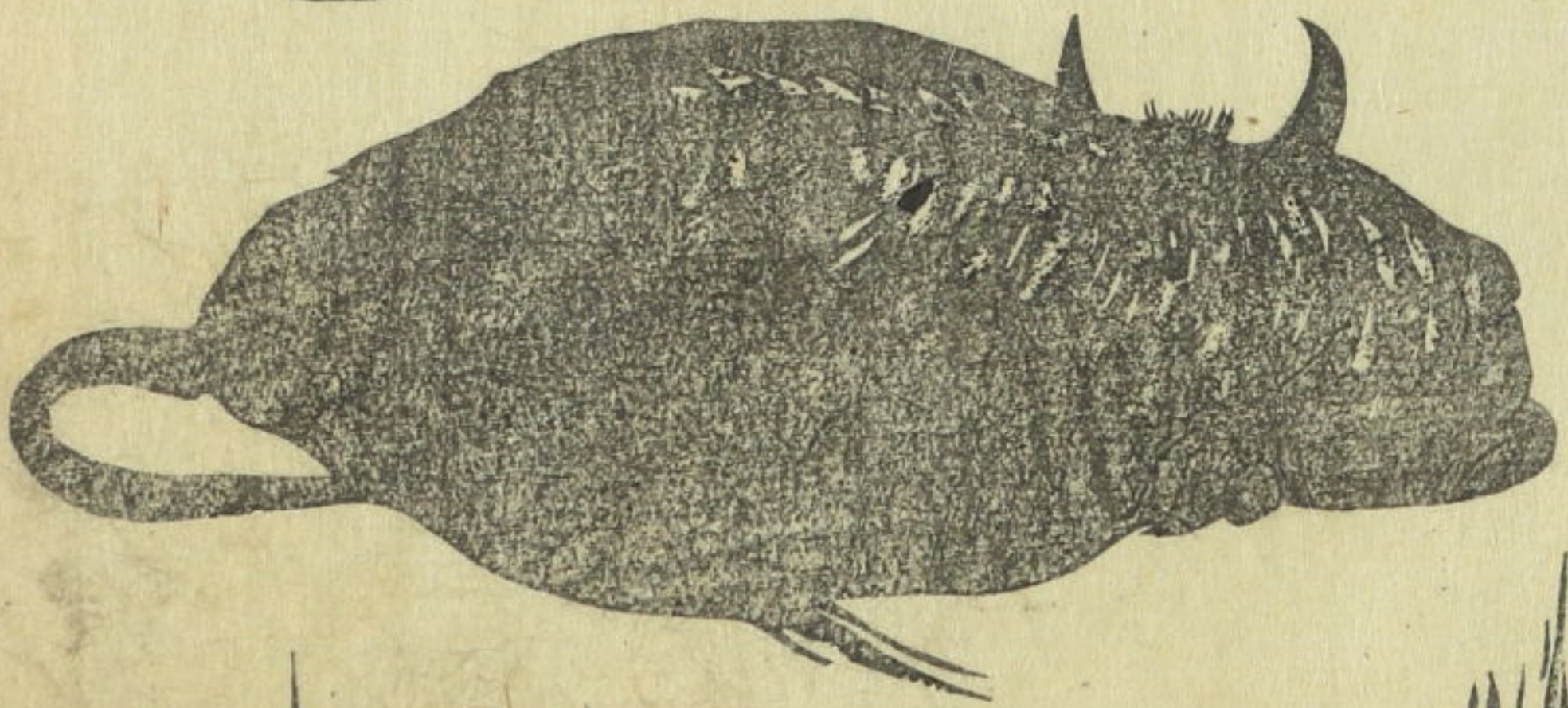
女  
子  
雨  
子

鳥  
か  
ら  
入

鳥  
か  
ら  
入

丹  
如

蘇  
良  
興  
印



之  
日  
月  
也

子  
か  
ら  
入

鳥  
か  
ら  
入

蘇  
良  
興  
印



菊白

在

冷

桐一

斗九象



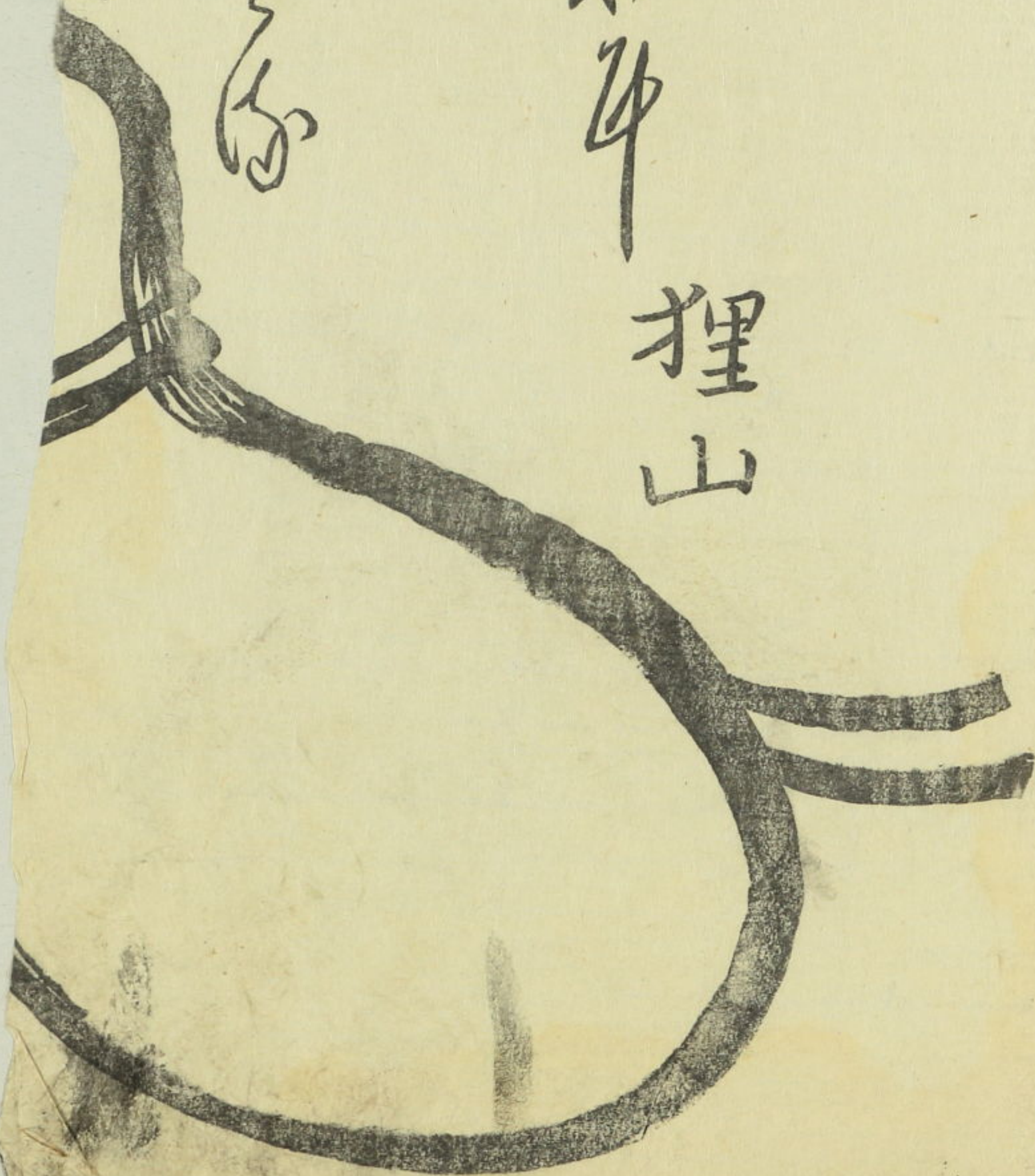
心

捏山

月

夕

夕



山  
松  
花

大板

素心  
[Seal]  
[Seal]



山



花



山

花

桂  
[Seal]



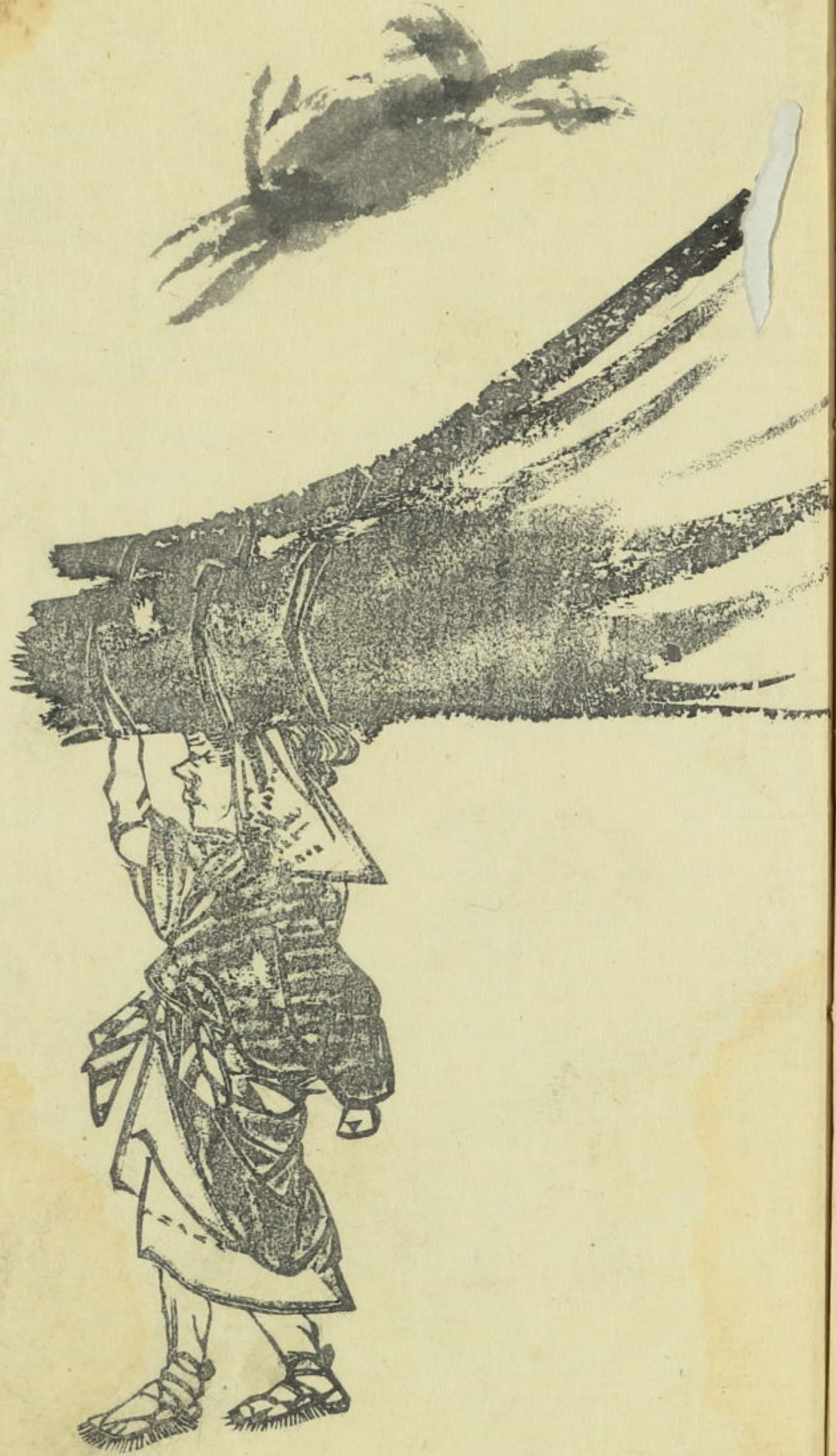
後村の事

心

也

今日乃月

川



林

おれと

き

討

如



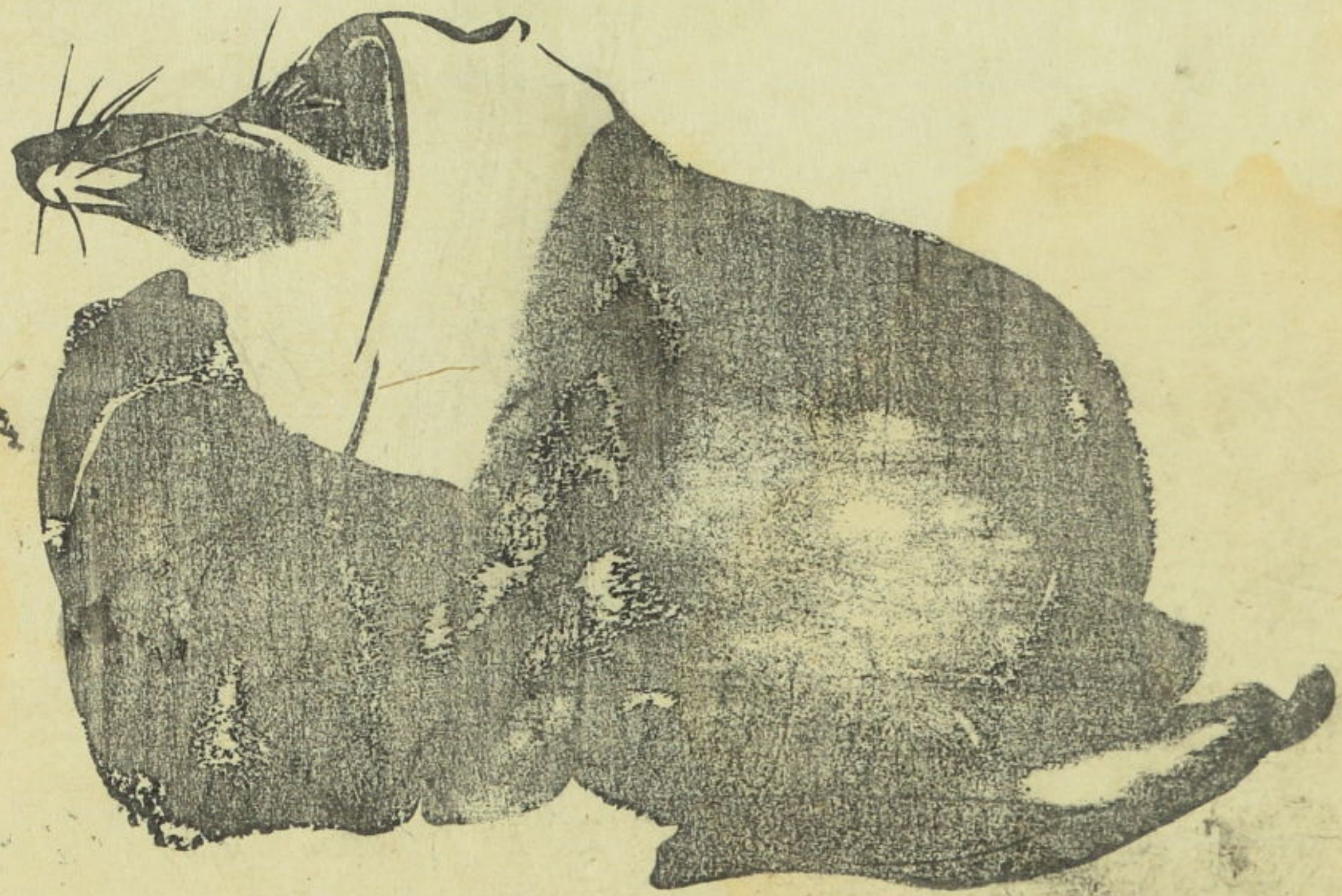
一

将徳也

いふ

毛頰

後  
ま



こちたま

あれき

あやせ

むー乃

かむろ

小  
ま



12114



植

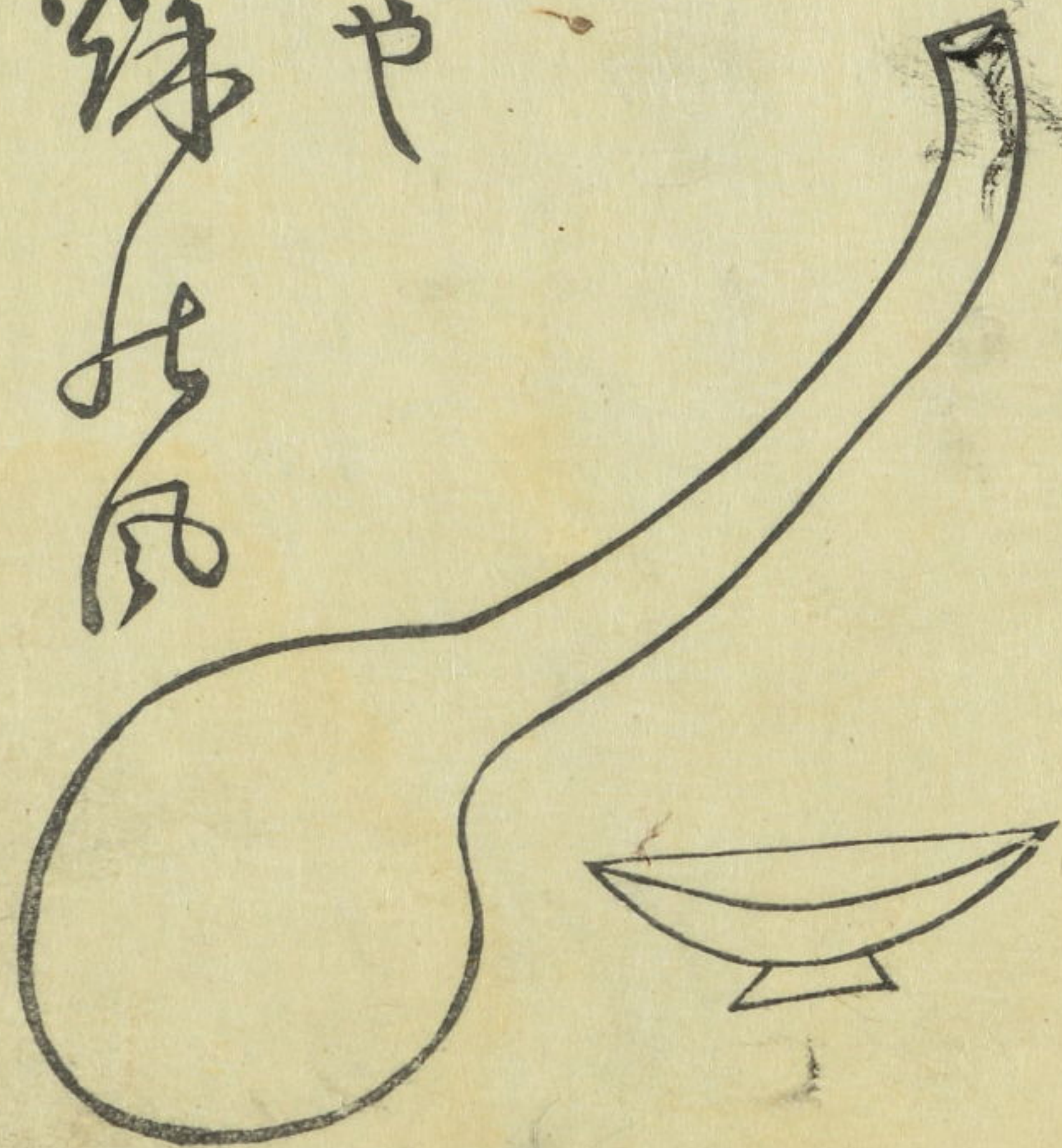
天目

松

み

糸

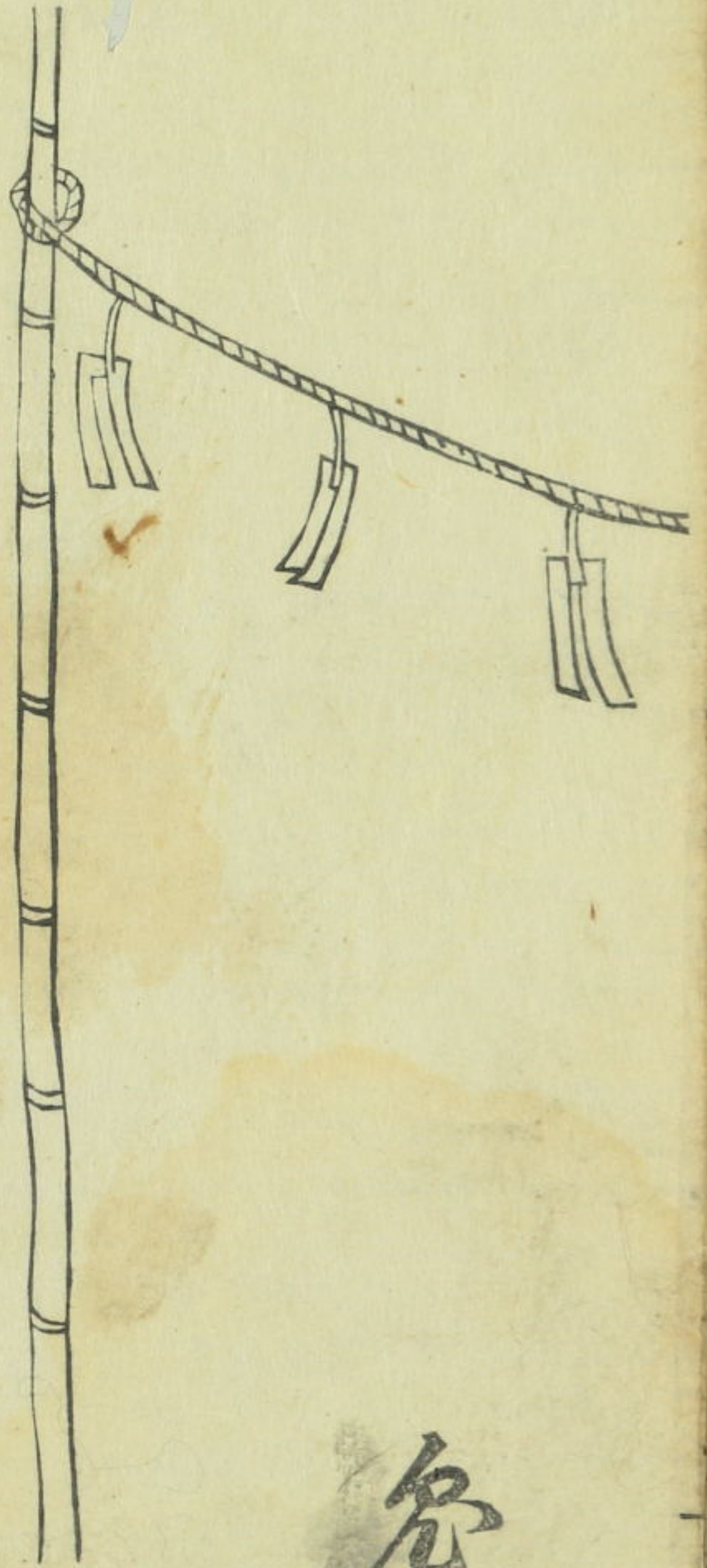
いあちん 鉢元鳥



子



粟

糸



糸

鹿  
加 留 之 和  
與 乃 安 久 託

浪花 鶴里  
  




子健 圖之



子健



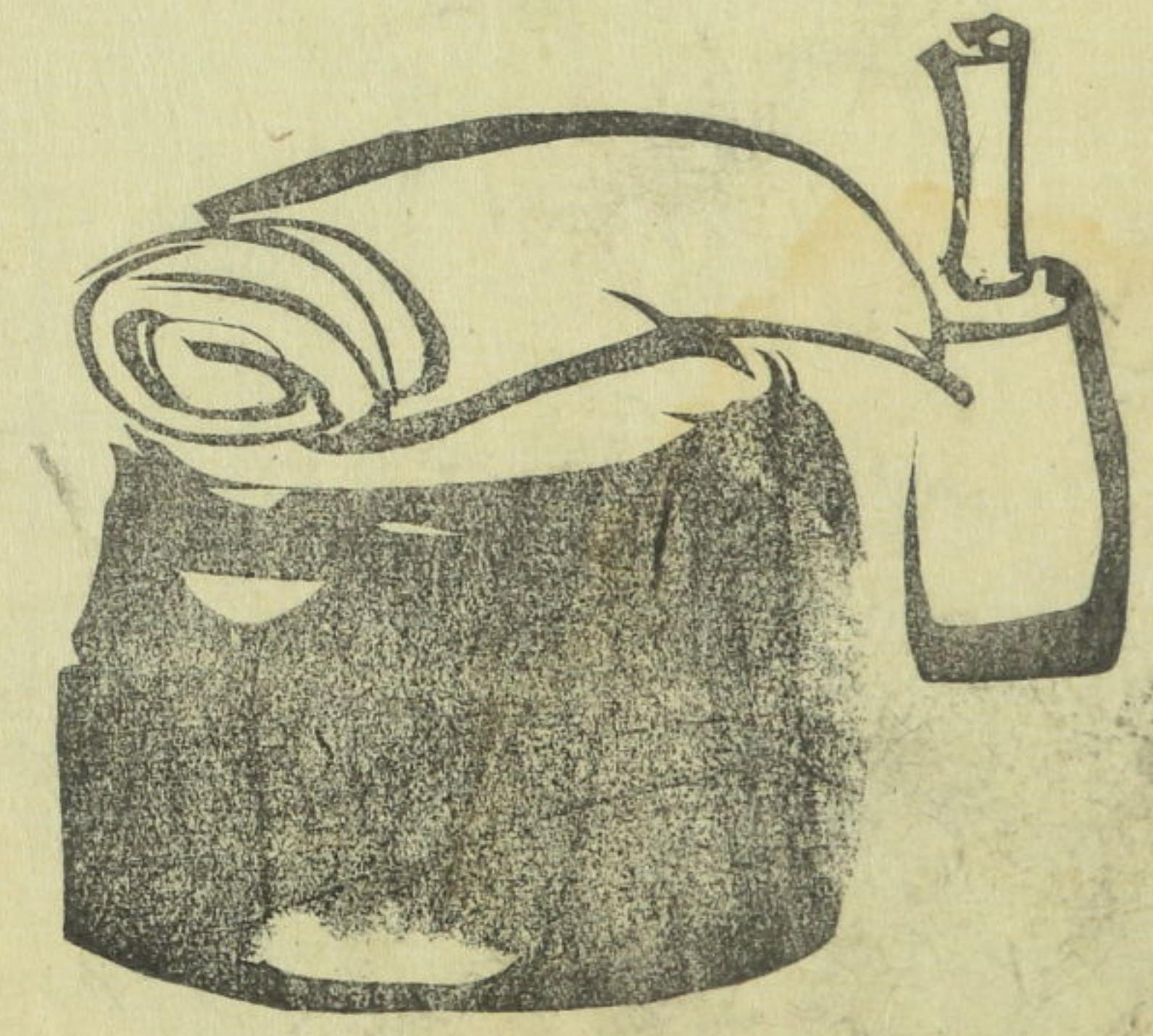
子健 圖之  
子健 圖之  
子健 圖之



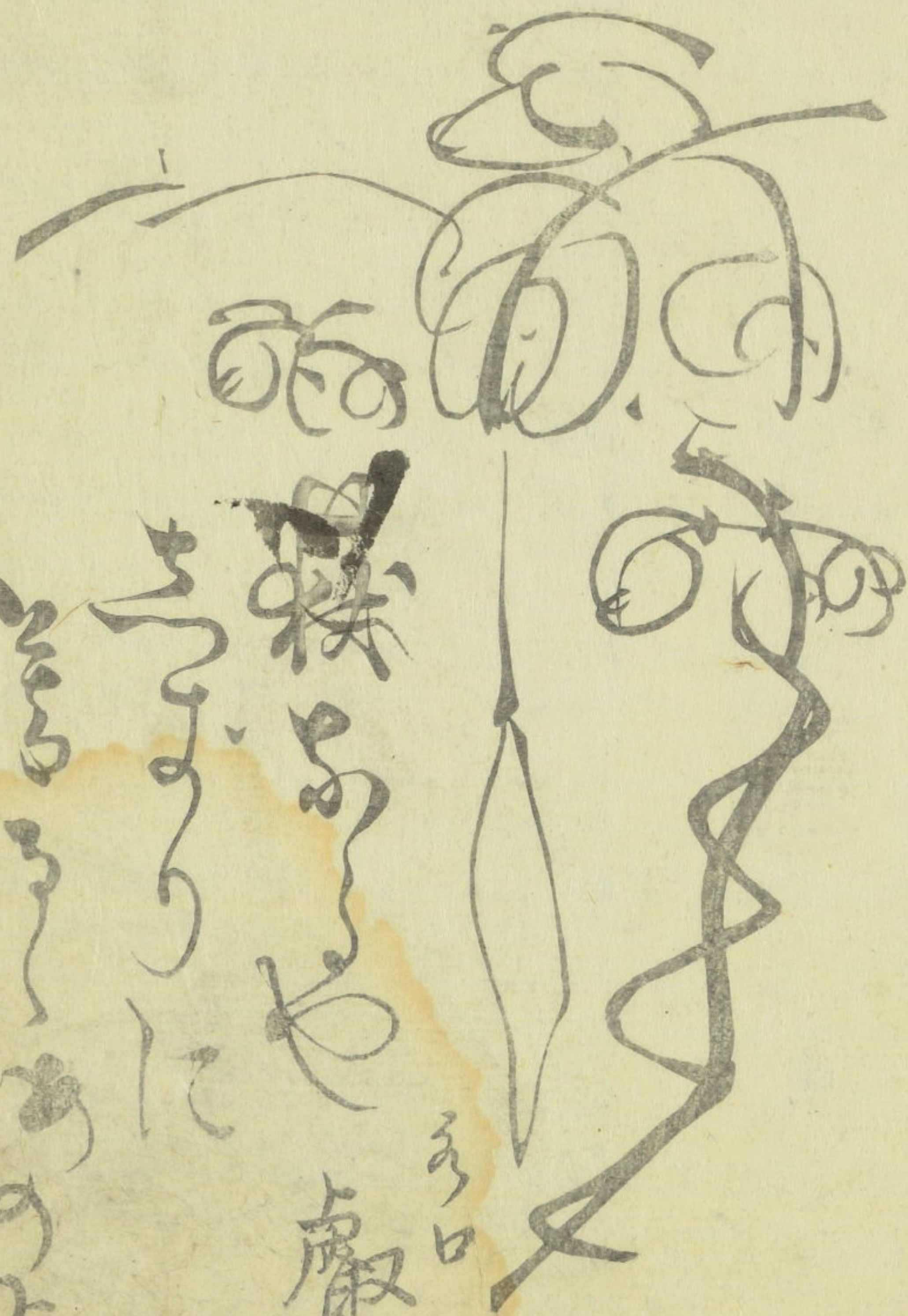
鳥の  
月  
の  
上

十二六  
中  
田

旅  
糸  
の  
糸  
の  
糸



糸  
田



Handwritten text in cursive script, including characters like 藤 (Fuji) and 藤原 (Fujiwara).

Small handwritten characters, possibly '山口' (Yamaguchi).

Small handwritten characters at the bottom of the page.

秋多 (Autumn many)

子人 (Child person)


Handwritten characters, possibly '申' (Shin).

福田 (Fukuda)

之松聖相 (Nozoki Shōshō)



山崎の日記  
 秋の山

以東  
 和月  




朝の光に

ひかりと

光の  
 可なり

其の  




障あり

るの葉乃や宗

花此處

千  
葉  
雨



花のや

の

か  
け  
れ

了  
裸



山  
丈



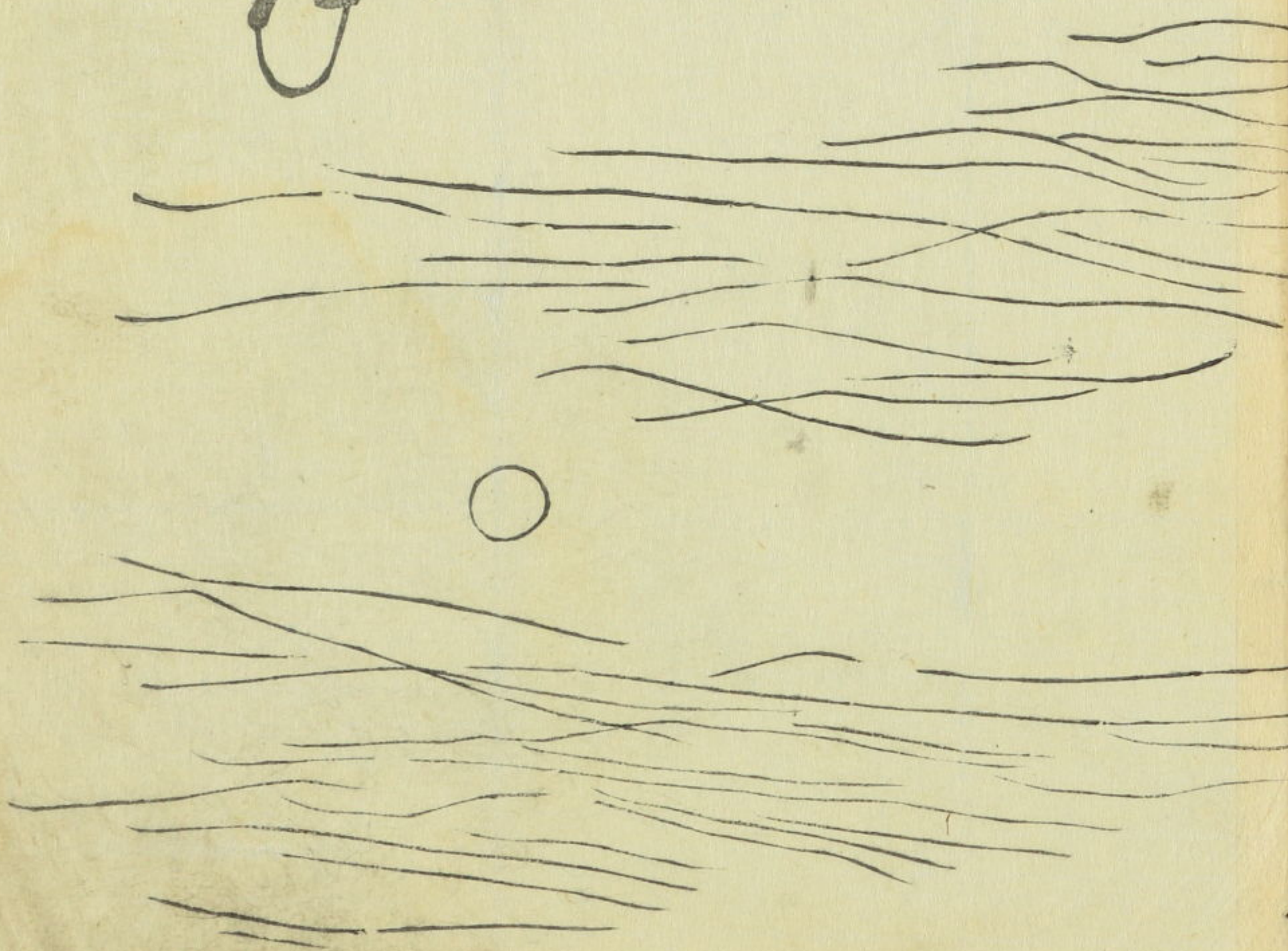
嵯麻



月の後の

寒し

湖一  
河多



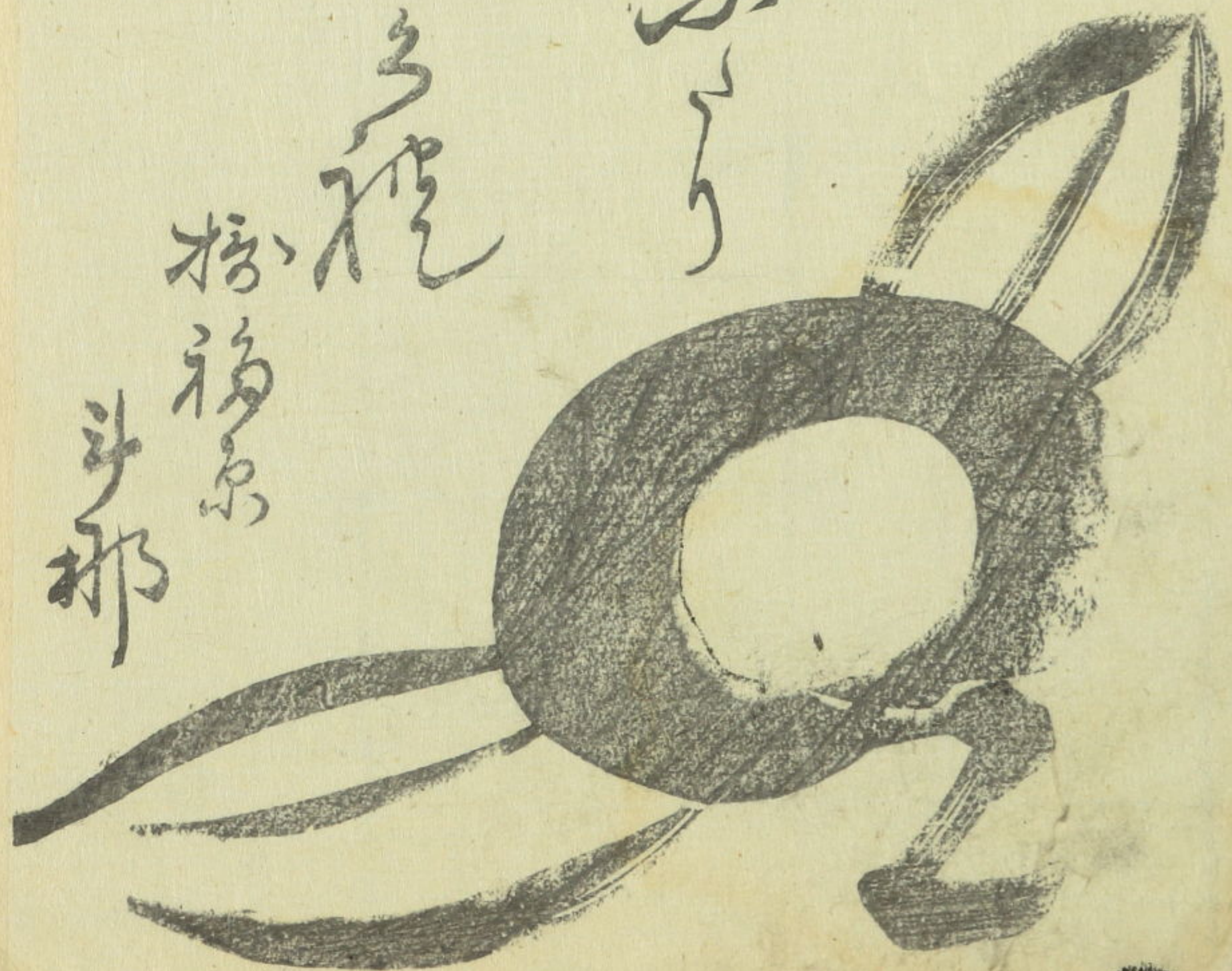
心馬と

に暮るる

秋此の程

橘福泉

斗那



湖の  
うさぎ

うさぎ

うさぎ

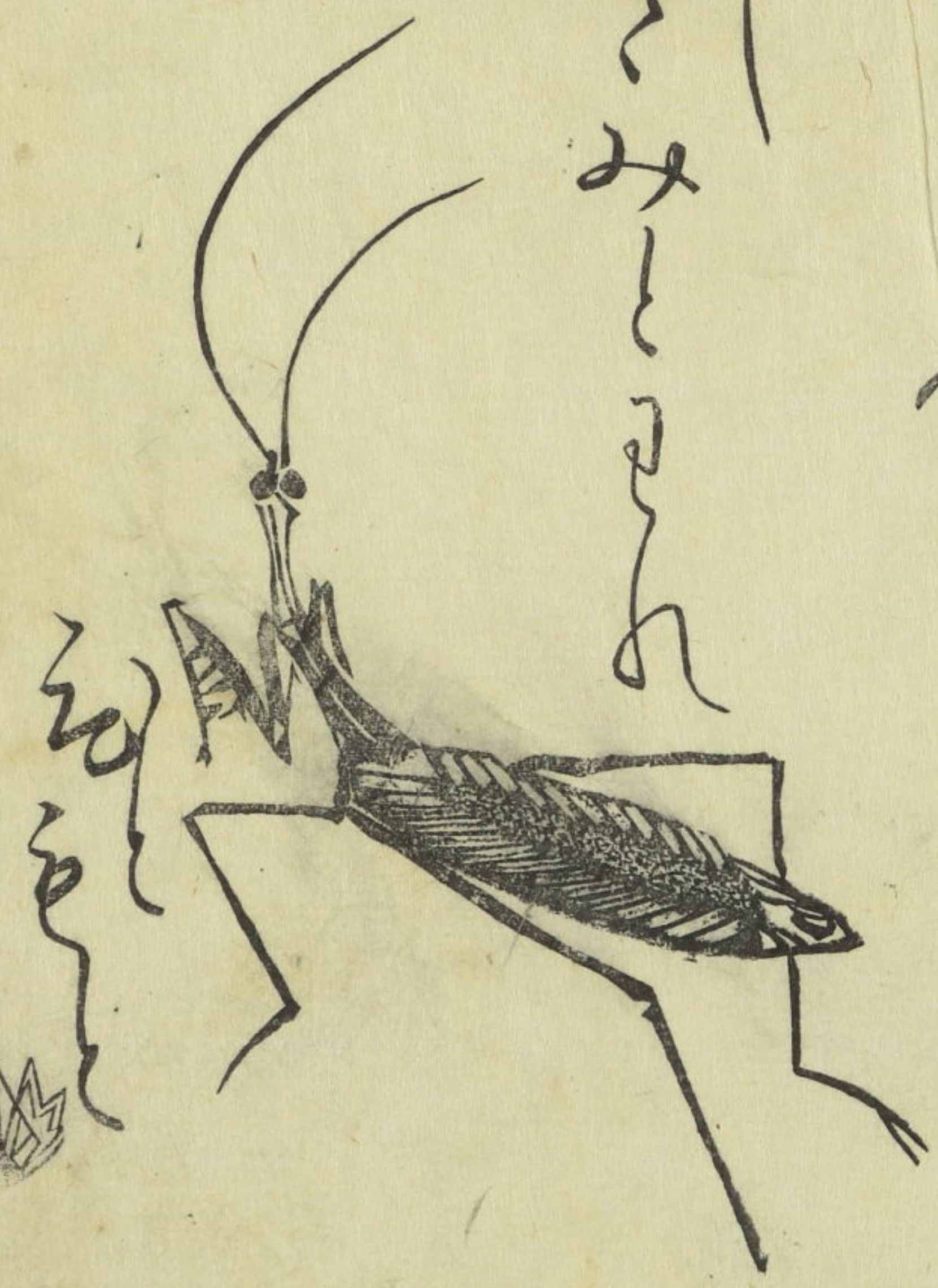
うさぎ



うさぎ

七ツ乃あふる

うさぎ



うさぎ



うさぎ



世よりのいり

花露乃

蜂の

あり

くさる

花に

からぬ



世よりのいり

人あり

いし

月見り

戸松のいし



17411

夜神樂や月子  
飛走る玉散  
嵯麻

六のすねのともも  
ついでるの  
女を

常乃残ちかちの岩つるの南  
逸人



あやのぬるふあひさし  
そし甲一の初し  
赤雲

一番に白あはれ  
あはれ 管屋う菊  
丘園

きり五の口教よ  
押く 外箱う  
のびろ

馬のうまき  
一日 持ちふみま  
竹有

鴨 鳴やあし  
あうの 佐ま  
雪彦

きり ぬる 乃月  
きり ぬる 乃月  
昆

御大やんはくしのかきり口

おん

茶の花水

春前

る橋

梅りて咲

夢のうら

又うら

る橋

夢のうら



少年

陸四郎

鯨切思ふと晴ハ猫の夢

少年乙五郎

月乃牙ハ給ハ踊ハ鉢叩

家平ハ歌あはれ佳那にて

西道の夢

IN 2111

宿也たら月とにらる  
し枝の通り越 秋意

風や清とそほに暮れ松奇山

おろききのとれなるを  
七

夕年の帰る家

ぬきとらふ櫻

あそ木のさき

上卯

松風のそそや 枯野の 一盞

夕のそそ

冬結あをを  
語 松山

たまりのゆめ舟心

朝工 鳴 呼 々 神 々 自 治 丸 策

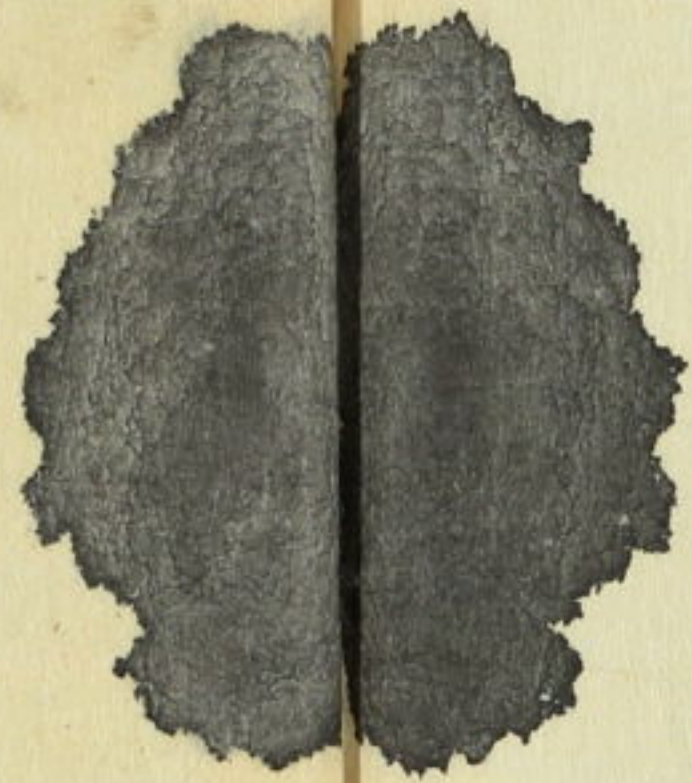
神 毛

ほの 冬 の 空 成 色 治 百 英

は ち 行 出 せ 川

は ち 行 出 せ 川 治 乃

さ ち 相 不 出 治 乃 策



さ ち 行 出 せ 川

よ ね 乃 田 治 乃

口 ち 行 出 せ 川 治 乃

治 乃

治 乃 治 乃 治 乃 治 乃 治 乃

治 乃

治 乃

浪 策

水仙乃首飾一之く南

浪華 山

にをわわ

出るにわわの首飾

浪華

何ものより

日暮

事一にし之入



松風の安とんよ 水口 太海

那る所ふ哉

舟よまの海に雪の山家外 浪華 自來

ゆよとふ白み い記

あはれぬ海に波はれ

山吹乃枯し 昔をあり 細代や 水口 和交

きんぎょ

本の色のるり 浪也

心め 笑し

うきうき

四尾

法ウ子 五中



浪花

山吹の山吹のやぶに林を 浪花

正美

あしやのたのたのた

あしや

と傳雪をくらふ 孝宗

上佳の世をうさる



多  
物  
入

子  
物  
子  
物  
子  
物  
子  
物

水  
口  
叔  
家

如  
身  
袖

子  
物  
子  
物  
子  
物

水  
口  
叔  
家

多  
物  
入  
子  
物

水  
口  
叔  
家